



**報告事項 1**

協議会議長

藤井 信英

一般社団法人日本ライオンズ執行理事会・理事会・社員総会 報告

※前期第 5 回ガバナー協議会（2024/06/13 開催）後の議事録配信分

- 【一社日 L】 第 10 回理事会議事録（2024/04/18 開催 REAL） .....P7～11
- 【一社日 L】 第 7 回執行理事会（2024/05/07 開催 WEB）
- 【一社日 L】 第 11 回理事会（2024/05/14 開催 REAL） ..... 議事録未着
- 【一社日 L】 現次期議長引継ぎ会（2024/05/29 開催 HB） ..... 議事録未着
- 【一社日 L】 第 12 回理事会（2024/06/05 開催 HB） ..... 議事録未着
- 【一社日 L】 第 4 回社員総会（2024/06/05 開催 REAL） ..... 議事録未着
- 【一社日 L】 最終理事会（2024/06/10 開催 REAL） ..... 議事録未着

<今期 期首～8月末>

- 【一社日 L】 旧理事会（監査報告含）（2024/07/11 開催 REAL） ..... 議事録未着
- 【一社日 L】 新旧理事会引継（2024/07/11 開催 REAL） ..... 議事録未着
- 【一社日 L】 新旧執行理事会（2024/07/11 開催 REAL）
- 【一社日 L】 新年度準備理事会（2024/07/11 開催 REAL） ..... 議事録未着
- 【一社日 L】（準備）執行理事会（2024/07/16 開催 WEB）
- 【一社日 L】 第 1 回社員総会（2024/08/01 開催 REAL）
- 【一社日 L】 第 1 回執行理事会（2024/08/06 開催 WEB）
- 【一社日 L】 第 1 回理事会（2024/08/30 開催 REAL）

**報告事項 2**

複合地区年次大会委員長

大谷 博

第 71 回複合地区年次大会（岡山）

日 程：2025 年 5 月 17 日(土) 記念ゴルフ/前夜祭 5 月 18 日(日) 分科会/総会/式典  
 会 場：大会 岡山芸術創造劇場ハレノワ 前夜祭 ホテルグランヴィア岡山

ホストクラブ：336-B 地区下記 22 クラブ

- 1R1Z：岡山 LC 岡山後楽 LC 御津 LC 岡山パール LC 岡山みらい LC
- 1R2Z：西大寺 LC 岡山吉備 LC 岡山フェニックス LC 邑久 LC 岡山城東 LC
- 1R3Z：備前 LC 備前三石 LC 日生 LC 和気 LC 吉永 LC
- 2R1Z：岡山東 LC 岡山西 LC 岡山南 LC 岡山あげは LC 岡山北 LC 岡山マスカット LC 岡山ハーモニー LC

**報告事項 3**

LCIF コーディネーター

高岡 英治

LCIF コーディネーター研修会について

会 場 名古屋ウインクあいち

○2024-2025 年度第 1 回 LCIF 日本リーダーズ会議

7 月 22 日(月) 午前 10 時 30 分～正午

○2024-2025 年度 LCIF コーディネーター研修会

研修会：1 日目 7 月 22 日(月) 午後 2 時～5 時 30 分 懇親会：午後 6 時～

研修会：2 日目 7 月 23 日(火) 午前 10 時～午後 1 時

2023-2024 年度末寄付一覧（6/30 速報値） .....P12

**報告事項 4**

GMT コーディネーター

宮本 浩二

MISSION1.5（2 年目） ⇒ ⇒ 目標

2027 年 7 月 1 日までに全世界合計会員数を 150 万人に達成させる。

（2024 年 7 月 1 日現在：全世界：1,338,000 人・日本：92,500 人・MD336：12,596 人）

- ・すべての会則地域で会員増強を達成する。
- ・すべての地区で新クラブを結成する。
- ・すべてのクラブが MISSION1.5 期間中に新会員を迎える。
- ・すべての地区は女性会員や若手会員を含めより多様な会員を迎え入れるための戦略を策定する。

GMA（3年目） ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ビジョン構築・計画策定

新クラブ結成により地区の若返りを図り、新会員を加えてクラブを活性化し仲間との親睦と興味深い奉仕によって現会員のやる気を一新させることに重点を置いた戦略プログラムを通じて、地区が会員を拡大できるようにする。

MISSION1.5 サミット 2024 開催 ウィンク愛知：愛知県名古屋市

【開催日程】 2024年7月30日～31日

【参加予定者】 複合地区コーディネーター・地区ガバナー・地区 GMT 及び GET コーディネーター

PEACE STOCK 79'（平和を願う祭典：野外音楽フェス）

MD336（336-C）から日本全国・世界各国のライオンズへ協力要請おこないたい。

- ・2023年11月12日（日）  
HIROSHIMA 会場（広島マリーナホップ）  
集客 10,000名 336-C 地区に協力要請・開催終了
- ・2024年6月29日（土）  
NAGASAKI 会場（長崎ハウステンボス特設会場）  
集客 3,000名 337-C 地区に協力要請・開催終了
- ・2024年8月17日（土）～18日（日）  
TOKYO 会場（東京お台場 R 地区 TERRAND 特設会場）  
集客 30,000名 330-A 地区に協力要請
- ・2024年9月22日（日）  
HIROSHIMA 会場（ホットスタッフフィールド広島特設会場）  
集客 20,000名 336-C 地区に協力要請
- ・2024年11月3日（日）  
OKINAWA 会場（美ら SUN ビーチ）開催調整中  
集客 3,000名 337-D 地区に協力要請に向けて調整中

※ 会員満足度向上・ライオンズ PR・献血推進・ドナーバンク登録推進・薬物乱用防止啓発など

※ PEACE STOCK メディア総 PV 数 7,000 万 PV（全国 70 メディアに掲載）

MD336 クラブ（クラブ支部）及び会員増減推移（過去5年間）……………P13

MD336 四半期会員増強計画・行動計画……………P14

## 報告事項 5

GLT コーディネーター

西尾 慎一

ミッション 1.5 次期複合地区 GAT/LCIF コーディネーター研修会

日時：6月5日（木）13：30～17：00

場所：名古屋 TKP ガーデン

出席者：高岡 LCIF コーディネーター 宮本 GMT コーディネーター

西尾 GLT コーディネーター 畑中 GST コーディネーター

研修会案内……………P15

第一第二副地区ガバナー研修会

日時：10月29日（火）13：00～17：30

場所：岡山シティホテル桑田町 別館 3F 会議室「306」 岡山市北区桑田町 3-30

講師：濱野国際理事

※ご案内状は追って複合事務局より発信いたします

2024-2025 年度国際協会主催研究会の申請について

（※7/10 国際協会から 8MD へ配信されたメールより抜粋）

今年度、会則地域5（OSEAL）で実施する研究会は下記2つ

- ・講師育成研究会（FDI）
- ・ライオンズ公認講師プログラム（LCIP）

### 1. LCIP

<https://www.lionsclubs.org/ja/resources-for-members/resource-center/lions-certified-instructor-program>

開催日：2024年11月1日～4日

開催地：タイ・バンコク

募集人数：10名

申請書提出先：オセアル調整事務局 [gatjapan@lionsclubs.org](mailto:gatjapan@lionsclubs.org)

提出期限：2024年7月31日（水）

### 2. FDI

<https://www.lionsclubs.org/ja/resources-for-members/resource-center/advanced-lions-leadership-institute>

開催日：2025年2月7日～9日

開催地：ベトナム・ホーチミン

募集人数：25名

申請書提出先：オセアル調整事務局 [gatjapan@lionsclubs.org](mailto:gatjapan@lionsclubs.org)

提出期限：2024年9月26日（木）

申請に関するの通達(7/10 国際協会配信メールより抜粋).....P16

#### 報告事項 6

GST コーディネーター

畑中 隆之

2024-2025 年度 GST での取り組みについて

- ① 各準地区における事業並びにセミナーなどを共有し、各々新しい事業への取組みへの啓発となるよう、また相互援助ができる仕組みを年間を通し整えていく。
- ② 「思いやりは大切なこと」奉仕アワード申請を例年よりも簡単に申請できるフォーマットを作成し、門戸を広め早めに仕掛けることでより多くの申請が集まるよう取組みを行う。
- ③ 新しい事業創出のためにアクティビティの情報を収集し紹介を行う。

2024-2025 年度各準地区活動報告.....P17

ウイーンで見かけたアクティビティ（C地区報告）.....P18～19

#### 報告事項 7

FWT コーディネーター

山崎 もとみ

8 複合地区 FWT 会議 7/13（金）名古屋

各地区が目標を提出、その目標にを達成する為、女性や学生等による支部結成、また、家族会員での協力体制を強化したいとの話があった。現在 FWT が継続している奉仕活動からノンライオンを呼び込み、会員拡大に努め、ミッション 1.5 を成功させるとの話もなされた。

2023-2024 年度 336 複合地区 6 月度会員増強報告書 .....P20

#### 報告事項 8

アラート委員会委員長

西尾 慎一

【一社日 L】第 6 回議事録（2024/05/15 開催）※前回ガバ協(6/13)以降配信 .....P21～23

【一社日 L】新旧引継ぎ会議事録（2024/07/02 開催） .....P24～27

#### 報告事項 9

会則および付則運営マニュアル編集委員会委員長

松岡 諒

8/2（金）15：00～17：00 対面形式 第 1 回日本ライオンズ会則委員会開催

【一社日 L】第 10 回委員会議事録（2024/06/17 開催） .....P28～32

**報告事項 10**

青少年・ライオンズクエスト・薬物乱用防止・平和ポスター委員会委員長

春木 扶佐子

準地区の委員会活動内容、ライオンズクエスト開催実績、今後の予定について準地区の委員会名と活動内容

- A 地区 青少年・LCIF・ライオンズクエスト委員会  
 B 地区 YCE・青少年健全育成・Lクエスト委員会  
           環境保全・保健福祉委員会 (薬物乱用防止)  
 C 地区 YCE・平和ポスター・国際関係・大会参加委員会 (平和ポスター)  
           青少年健全育成(クエスト・薬物乱用防止)レオ委員会  
 D 地区 青少年健全育成・ライオンズクエスト委員会

1. ライオンズクエスト関係2023年7月～2024年6月 ワークショップ開催数・開催実績 ※資料参照

- D 地区 ライオンズメンバー対象ワークショップを開催  
           6月15日 山口 17名参加  
           6月16日 島根 19名参加

ワークショップ開催数と実績.....P33～34

2024年～2025年度 開催予定

- A 地区 体験セミナー 7月29日 土佐女子中高等学校  
           ワークショップ 8月9日(基本編)高松市内小・中学校対象  
           8月20日(基本編)鳴門市内・小中学校対象(鳴門市教育委員会)  
           8月23日(基本編)土佐市内小・中学校対象(土佐市教育委員会)  
 B 地区 メンバー対象のワークショップ開催を依頼  
 C 地区 体験セミナー 7月23日・7月25日・8月22日  
           ワークショップ 7月25日・26日(基本編+実践編)福山市内私立校対象  
           7月26日(基本編)広島市亀崎小学校対象  
           メンバー対象のワークショップ 2か所で開催予定  
 D 地区 ライオンズクエスト促進

2. 薬物乱用防止関係

- B 地区 薬物乱用防止教育認定講師養成講座  
           鳥取 11月 2日 岡山 11月29日開催予定  
 D 地区 薬物乱用防止教育認定講師養成講座  
           島根 10月19日 山口 10月20日開催予定

3. 平和ポスター関係

2024-2025 平和ポスターコンテスト テーマ「限りない平和」

**2024年11月20日(水)迄に複合事務局宛に各地区より1点をお送りいただく。**

12月上旬に複合地区にて最終審査を実施し、1点を国際協会へ提出します。

なお、最優秀賞として国際協会へ提出された作品につきましては返却されません。

**複合地区での最終審査会****2024年12月3日(火)～5日(木) 何れかで開催を希望**

議長、ガバナー、外部審査員での日程調整を行いたい。

今後の取り組み

A・B・C・D準地区の委員長を対象に年3回、委員会を開催する

ライオンズクエスト普及活動、交付金申請の勉強会・薬物乱用防止・平和ポスターコンテストについて

**報告事項 11**

YCE・国際関係・レオ委員会委員長

小銭 和明

※冬期(2025年1月)YCE台湾生受入に関しては、協議事項12(協議事項4ページ)を参照

【MD336】次期 YCE 準備委員会議事録（2024/06/10 開催） .....	P35～36
【一社日 L】第 7 回委員会議事録（2024/06/12 開催） .....	P37～42

### 報告事項 12

環境保全・保健福祉・献血・献眼・視聴覚委員会委員長

占部 智之

#### 献血意見交換会

9/3（火）13：30～17：00 9/4（水）9：00～12：00

会場：日本赤十字社中四国ブロック血液センター

出席者：議長・ガバナー・MD 委員長/副委員長・各地区献血委員会関係者各位

### 報告事項 13

IT・M・L 情報委員会委員長 / 一社)日 L ライオン誌日本語版委員会委員

佐々木 孝之

- ① My Lion、MyLCI から Lion Portal への移行に伴い、Oseal 調整事務局よりすでに皆さまへご案内のメールが 2024 年 4 月頃にお送りされているかと思ひます。既にご担当者様には会計、会員動向等の入力業務を行っていただいていることと思ひますが、Lion Account をお持ちのメンバー及びこれから登録される方に委員会として早期に移行の促進を行います。Lion Portal のデータはライオン誌、ウェブマガジンでも活用されています。特設ページを OSEAL 調整事務局 HP 内に設置し、手続きや皆様からのよくあるご質問を掲載しています。
  - ・ライオンズクラブ国際協会日本語情報サイト
  - Lion Portal ページ：<https://sites.google.com/site/pacificasianja/lion-portal>
- ② ライオン誌日本語版ウェブマガジンの登録を促進し、閲覧だけでなく投稿リポートの掲載で自クラブの PR、情報資料（ライオンズ必携等）、コミュニケーションツールの活用を促します。

登録状況：LINE 5,775 人(2024 年 6 月末現在)

Facebook 1,938 人( // )

X 608 人( // )

Instagram 562 人( // )

You tube 740 人( // )

- ③ Facebook に MD336 のアカウントを作りました。地区のアップされている記事はシェアします。

【一社日 L】第 11 回委員会報告書（2024/06/13 開催） .....	P43～46
--	--------

※前回第 5 回ガバ協（6/13）以降の配信

### 報告事項 14

一社)日 L 国際理事候補者資格審査委員会委員

三口 巖

2025～2027 年度 国際理事候補者 仁科 良三 氏（334-E 地区 長野みすず LC 所属）

8/2（金）13：30～14：45 対面形式 第 1 回国際理事候補者資格審査委員会開催

### 報告事項 15

国際大会委員会委員長（一社日 L 国際大会委員会 MD336 担当委員）

市村 通夫

- ・OSEAL フォーラム（パタヤ）については、協議事項 6 を参照
- ・国際大会（メキシコシティ）については、詳細情報が入り次第都度お伝えする

### 報告事項 16

件名：第 3 回全国特別支援学校フットサル大会中国・四国大会について

池原 堅

#### 事業概要

全国の特別支援学校に通う生徒たちへ向けたフットサル大会の開催及び運営  
当法人は、全国の障がいを持つ生徒に、心身の健康、人とのつながり及び全国優勝という夢と希望を与え、障がいを持つ生徒の日々の生活をより豊かなものにするるとともに、インクルーシブ社会を実現することを目的として、特別支援学校の生徒達を対象とするフットサル大会の予選を全国各地で開催するとともに、各地区の優勝校が参加する全国大会を開催する事業を実施する。

- ・2023年11月1日 公益財団法人日本ライオンズとして内閣府より承認される。
- ・ライオンズクラブ国際協会承認(国際協会より契約書発行)
- ・文化庁・スポーツ庁承認

#### 中・四国大会に関して

- ・MD336 フットサル口座開設について (MD336 は財団理事名で開設)  
2024年度中・四国大会予算書(240万円)が振込される口座で資金はすべて寄付金で賄う
- ・8月25日(日) 10:00 岡山 IPU 環太平洋大学にて開会 (別紙大会案内参照方) ご協力方!

参考:

第2回大会は2023/8/27 13校が参加 ※今年度は出場校は厳しい状況

優勝: 中国地区代表 島根県立松江養護学校 B チーム

優勝: 四国地区代表 香川東部支援学校

四国地区は石井ガバナーへ世話人の選出をお願いしたい。

(前年度は鴨島 LC 後藤田さんに世話人を引き受けてもらったが今年は体調不良でお断り)

- ・中国地区では前年度に引き続き岡山西ライオンズクラブが支援されます。
- 大会次第は別紙参照方
- ・全国大会 11月1日~2日 名古屋中村センターで開催されます。

#### [第3回全国特別支援学校フットサル中四国大会]

要項	P47~48
予算書	P49
開・閉会式次第案	P50
全国担当者連絡先	P51
中四国地区参加校	P52

### 報告事項 17

協議会議長

藤井 信英

前年度第四半期(4月~6月) GAT 感謝状 贈呈

※新クラブ結成、新支部結成、新会員拡大に貢献されたクラブ宛

新支部結成

地区	親クラブ	支部クラブ	会員数	承認日
A	高知りょうま	高知りょうまスポーツ	5	2024/6/30
A	坂出白峰	坂出白峰中央クラブ支部	8	2024/4/3
C	福山フラワー	福山アート	5	2024/5/15
D	防府 LC	防府ヘッドネーション梅クラブ支部	5	2024/6/22
D	出雲中央	出雲中央ワルツ	10	2024/6/3

新会員拡大 ※純増 10 名以上

地区	クラブ	会員数
B	岡山みらい	+22
B	岡山あげは	+11

### その他報告事項

23-24年度 第10回理事会 議事録

日 時： 2024年4月18日(木) 13:30-16:00

場 所： 沖縄県恩納村 リザンシーパークホテル茶谷ベイ+ZOOM

出席者：

理事長	田名部 智之 (八戸)	監事	今井 文彦 (東京巣鴨) 【WEB】
副理事長	池原 堅 (福山久松)	監事	佐々木 忠康 (小樽) 【欠席】
副理事長	松浦 淳一 (岩見沢はまなす)	監事	橋本 勝策 (焼津)
専務理事	増澤 義治 (諏訪湖)	監事	岡村 聖爾 (下関北) 【WEB】

常務理事	田中 雄一 (狭山) 【欠席】
常務理事	栗村 安弘 (大船渡) 【欠席】
常務理事	星野 勝美 (太田) 【WEB】
常務理事	戸祭 宏樹 (鯖江王山)
常務理事	中谷 豊重 (岸和田)
常務理事	澤 辰水 (下関)
常務理事	新里 正雄 (沖縄)

理事	吉本 晴夫 (藤沢中央)
理事	須藤 敏幸 (伊達)
理事	松本 宰史 (南房総) 【WEB】
理事	吉村 弘吉 (和歌山) 【欠席】
理事	玉川 孝 (熊本葵) 【WEB】

理事

(公益財団法人日本ライオンズ理事長)

不老 安正 (大宰府)

理事

(一般社団法人日本ライオンズ前理事長)

村木 秀之 (東京数寄屋橋) 【WEB】

オブザーバー：

法律顧問

池田 和司 (東京桜門) 【欠席】

会計顧問

吉田 宗一郎 (東京武蔵野) 【欠席】

事務局長補佐

菅原 孝明 (八戸)

議 題：

### 審議事項

#### ① アラート委員会 能登BASE設置の件

池原副理事長より資料の説明。能登町斉和コミュニティーセンターに設置している。見積書が示され、設置・土地の賃料・維持費等含め、計 230 万であることの説明。その他詳細については資料の通り。土地の賃貸については2月より発生しており、現在は簡易シャワーなどを設置しており使用されている。

なお見積りでは月の予算を 25 万としているが、最大で 25 万として算出しており、余剰金については日本ライオンズへ返金する予定である。

満場一致で承認された。

### 協議・確認事項

#### ① 人事・総務関係

増澤専務理事より配布資料の説明があった。

田名部理事長より説明、社団事務職員全員との最終個人面談。5/16 に行う。

#### ② OSEAL フォーラムステアリング委員会（タイ・パタヤ 5/31-6/2）参加者について

増澤専務理事より説明。

次年度理事長、MD331, 332, 333, 334 議長の計 5 名が参加する。

参加対象者へ向け、事前説明会議を WEB 開催する予定。

#### ③ 次年度引き継事項について

##### ・次年度理事会構成・委員会構成について

松浦副理事長より資料をもとに現時点での決定事項について説明。

例年通り、2 年目理事より理事長・専務・各委員会委員長を選出する。

変更事項として、今期委員会として設置していた SON について、今年は日本大会が行われないことから、理事会内委員会への移動を予定している。GAT について現在地区により取り組みに差があり、日本全体で動けるようにしたいことから、担当設置の件などを含め今後検討を続けていく。

##### ・コンプライアンス委員会の設置と運営について

会則委員長である松本理事より資料の説明があった。本規程案を本年度中に複合の会則委員会にて調整していただき、それぞれの地区に合った規程にしていきたい。複合における委員会メンバー構成については、ガバナー協議会メンバーと会則委員長含めて構成してほしい。準地区においては、運営委員会ないし総務委員会などに会則委員長を含め構成してほしい。7～8 名が適切と考えている。

今年度各複合地区会則委員会で協議を行っていただいたのち、来期 1 年をパイロット期間として試用を行っていただき、フィードバックののち、次年度の再決議を経て 25 年 7 月からの運用

を目指すこととする。会則委員会で作成したコンプライアンス案についてはたたき台であることから、地区の状況に合わせ、調整を行っていただくことも問題ない。

満場一致で承認を得た。

#### ・定款変更案の件

増澤専務理事、中谷常務理事より説明があった。次年度において慎重審議とする。

5月29日に開催される現・次期議長引き継ぎ会議にも提出予定である。

#### ・次年度引き継ぎ会議開催の件

2024年5月29日(水) 13:30-16:00 一般社団法人日本ライオンズ事務所+ZOOM

参加対象者：一般社団法人日本ライオンズ 23-24年度 理事長・副理事長・専務理事

23-24年度 各複合地区ガバナー協議会 議長

24-25年度 各複合地区ガバナー協議会 議長予定者

### 報告事項

#### ① 4/2 サンジープ事務総長との打ち合わせの報告

##### ・国際理事との情報交換会開催について

田名部理事長より説明。国際理事、GATのエリアリーダーは国際協会の紛れもないプロトコルであり社団が無関係であることは不自然である為、定期会議を行い準地区、複合地区の声を吸い上げ国際理事に託し、国際理事会に上げてはいかがかと提案があった。

よって国際理事会前に定期会議を開くことが望ましい。

##### ・日本ライオンズの位置づけと情報の流れについて

田名部理事長より説明。サンジープ事務総長との打ち合わせにおいて、社団からの要求についてはほぼ受け入れていただいた。

課題であった本部からの情報共有についても、社団を通す、もしくは通すことのできない場合でも他の複合・地区などに配信されるのと同じレベルにて可能であると回答を頂いている。

社団の活動内容が国際協会のメニューと現状は乖離がある事につき指摘を受けた。よって、国際協会のメニューに準じた社団内担当の整備が必要である。

具体的には、GAT並びに国際協会の全プログラムメニューを社団内に紐づけること。

現在はGAT関係の情報共有についても課題があり、情報の流れがうまくいくよう、日本ライオンズがあくまで情報共有として、連絡を担当したい。来期GAT担当委員会を社団内に設置したいと考えており、設置について承認を得た。

冒頭で発言した通り、国際役員であるID/GATリーダーとのかかわりを持つことが必要であり、次年度より月1回もしくは四半期に1回、定例会を行う仕組みを提案したい。

定例会を通じ、国際の場へ日本としての意見を上程できる。元国際理事である不老財団理事長からは、かつては国際理事と議長連絡会との意見交換会が行われていたと発言あり。

今期中にパイロット事業として一度会議を行いたいと田名部理事長より提案があり、承認を頂く。

## ② ライオン誌関係

田名部理事長より説明、5/17 第三回ライオン誌検討委員会を開催する。資料を後日配布しますので確認頂きたい。委員会前に何か要望事項があれば頂きたい。

池原副理事長より日本ライオンズより各複合・地区年次大会へ上程議案として依頼をしている賛助会費 80 円の件について複合においては審議事項にしているところもある為、報告事項にすべきではないかとの意見があった。

## ③ 次年度関係

### ・賛助会費免除対象の確認

増澤専務理事より添付資料の説明があった。特典会員の一覧表があるので賛助会費免除について参考にして頂きたい。キャンパスクラブについて質問があり、割引会員となるため賛助会費は免除になると増澤専務理事より回答。

## ④ LCIF を通じた台湾地震への支援について

田名部理事長より説明。LCIF 日本より社団に支援協力文書を配信してほしいとの依頼があり社団より文章を発出している。

ご協力をお願いしたい。

## 各委員会より報告事項

### ① 会則委員会

#### ・役員必携増刷について

会則委員長である松本理事より説明。次期クラブ三役研修に向けて増刷 4,000 部を予定している。ぜひ資料としてご活用いただきたい旨の依頼と、見積書の説明があった。

頒布価格は初版と同じ 1 部 600 円とする。

予定の通りの増刷につき諮り、満場一致で承認された。

### ② 国際大会委員会

・現在吉村大会委員長が現地視察中のため、増澤専務理事より資料に基づき説明。日本においては大会委員会で把握している数では現在 786 名の登録状況などの説明があった。

#### ・メルボルン国際大会について

パレードの関係費、及び代議員会費についてパレードが約 60 万円、代議員会が約 50 万円となり、合計で約 110 万の予定。ジャパンレセプション（代議員会）については 6 月 22 日に開催、16:30—18:00、カクテルレセプションを予定。登録料は一人 1 万円程度を予定。日本ライオンズ国際大会関係予算を使用したい旨諮り、満場一致で承認された。

### ③ アラート委員会

・JGTO（一般社団法人 日本ゴルフツアー機構）への感謝状について

大阪若獅子LCのメンバーより、稲森佑貴プロゴルファーが賞品として獲得した「サトウのごはん」11年分を、日本ライオンズを通じて被災地へ寄付したいと依頼があった。

詳細は後日報告する。先方より希望をいただいている日本ライオンズ理事長名での感謝状について発行したい旨諮り、全会一致で承認された。

・アラートフォーラム岡山 収支報告と余剰金について

池原副理事長より今年2月に開催された岡山での全国アラートフォーラムについて資料に沿って収支報告説明があり、余剰金は一度MD336より日本ライオンズへ振り込むことが報告された。本報告書は承認を得た。

・その他

不老公益財団法人日本ライオンズ理事長より、4/4にサンジープ事務総長との会談を行ったことの説明があった。財団が唯一の国際協会公認の団体であると事務総長より発言があった件と、活動について評価を得たことの報告。能登半島、台湾への支援状況の説明があった。財団より334-D地区には420万円、台湾へ100万を寄付したことの報告。

松浦副理事長より2030年国際大会への札幌の立候補についての報告。本部大会委員会委員長であるPIPムーアⅢ世をはじめ本部より役員が4日に来日され現地視察、札幌市長表敬訪問を行った件についての報告。現在4都市が立候補しているが、札幌は全力で誘致に向け動いている旨説明があった。2030年の開催地についてはメルボルンで開催される国際理事会にて決定される予定。

田名部理事長より公益財団からの文書については社団より全国へお送りし、内容についてはそれぞれのMD・地区にてご判断をいただくよう発言。

・監事講評

橋本監事より日本ライオンズが前へ進むための協議がされていると感じている。

決して後戻りをする事の無いようお願いしたい。

今後の理事会開催予定

- |           |                              |
|-----------|------------------------------|
| ★第7回執行理事会 | 5月7日（火）WEB                   |
| ★第11回理事会  | 5月14日（火）群馬県草津 喜びの湯高松         |
| ★第12回理事会  | 6月5日（水）日本ライオンズ事務所（午後から第4回総会） |
| ★最終理事会    | 6月10日（月）北海道 洞爺河畔亭            |

以上

議事録作成人：

事務局長補佐 菅原 孝明

議事録署名人：

一般社団法人日本ライオンズ

理事長 田名部 智之 【押印省略】

監事 今井 文彦 【押印省略】

監事 橋本 勝策 【押印省略】

監事 岡村 聖爾 【押印省略】

地区	エリア：AL・SAL・MDC	CC・DG	2023-2024年度実績					
			4月までの 累計寄付額*	5月 銀行ベース	6月 銀行ベース	今期累計*	今期目標	達成率
330-A	東京	阿部 かな子	499,845	22,174	26,547	548,566	440,000	124.7%
330-B	神奈川・山梨・東京	石田 真一	510,647	3,481	10,680	524,809	500,000	105.0%
330-C	埼玉	田中 雄一	244,846	15,322	16,661	276,829	180,000	153.8%
MD330計	330MDC 阿久津 隆文	田中 雄一	1,255,338	40,977	53,889	1,350,203	1,120,000	120.6%
331-A	道央	設楽 幸子	408,680	38,914	20,301	467,895	250,000	187.2%
331-B	道北・道東	藤原 回向	108,174	1,676	7,638	117,488	150,000	78.3%
331-C	道南	渡部 義男	139,402	14,748	8,531	162,681	120,000	135.6%
MD331計	331MDC 及川 隆人	松浦 淳一	661,256	55,339	36,470	753,065	520,000	144.8%
332-A	青森	大矢 進	122,242	21,498	7,795	151,535	120,000	126.3%
332-B	岩手	高橋 寛	84,970	0	10,838	95,808	90,000	106.5%
332-C	宮城	渡邊 俊弥	101,646	1,178	2,505	105,330	90,000	117.0%
332-D	福島	門馬 弘	139,766	5,893	2,617	148,276	120,000	123.6%
332-E	山形	西村 公夫	100,893	2,500	2,945	106,337	90,000	118.2%
332-F	秋田	石垣 勝康	30,670	32	32,123	62,825	70,000	89.8%
MD332計	332MDC 佐野 宏美	栗村 安弘	580,169	31,102	58,822	670,093	580,000	115.5%
333-A	新潟	鈴木 壽男	243,402	3,177	4,700	251,278	220,000	114.2%
333-B	栃木	後藤 一男	102,872	11,788	827	115,487	130,000	88.8%
333-C	千葉	北野 淳子	257,795	9,719	11,039	278,552	250,000	111.4%
333-D	群馬	福田 勝巳	149,895	1,404	709	152,008	150,000	101.3%
333-E	茨城	齊藤 正行	627,690	1,000	2,072	630,762	500,000	126.2%
MD333計	333MDC 中嶋 正昭	星野 勝美	1,381,653	27,088	20,175	1,428,916	1,250,000	114.3%
MD330・333計	330・333 SAL 石原 英司		2,636,991	68,064	74,064	2,779,119	2,370,000	117.3%
MD331・332計	331・332 SAL 谷岡 憲行		1,241,425	86,440	95,291	1,423,157	1,100,000	129.4%
東日本計	東日本AL 鶴嶋 浩二		3,878,417	154,505	169,355	4,202,276	3,470,000	121.1%
334-A	愛知	木野村 好己	1,028,693	2,098	69,465	1,100,256	1,100,000	100.0%
334-B	岐阜・三重	川嶋 富士雄	384,595	0	6,677	391,272	340,000	115.1%
334-C	静岡	前田 磨	346,063	36,396	3,200	385,659	300,000	128.6%
334-D	富山・石川・福井	小出 進	371,025	15,160	30,151	416,336	400,000	104.1%
334-E	長野	喜多 友一	283,141	7,743	4,413	295,297	260,000	113.6%
MD334計	334MDC 遠藤 紀夫	戸祭 宏樹	2,413,517	61,397	113,906	2,588,820	2,400,000	107.9%
335-A	兵庫東(神戸)	山中 健	204,311	14,107	693	219,111	200,000	109.6%
335-B	大阪・和歌山	西尾 良典	876,829	58,830	11,800	947,459	900,000	105.3%
335-C	滋賀・京都・奈良	山本 忍	662,672	42,612	7,485	712,770	550,000	129.6%
335-D	兵庫西(姫路)	廣田 晃一	269,122	2,547	16,349	288,017	200,000	144.0%
MD335計	335MDC 針田 一郎	中谷 豊重	2,022,937	118,096	36,328	2,177,361	1,850,000	117.7%
336-A	徳島・高知・香川・愛媛	山崎 勝彦	480,078	18,952	8,698	507,728	400,000	126.9%
336-B	岡山・鳥取	藤井 信英	214,575	17,199	11,097	242,871	200,000	121.4%
336-C	広島	三口 巖	315,814	1,480	25,670	342,964	250,000	137.2%
336-D	山口・島根	山崎 もとみ	238,392	3,399	24,462	266,253	200,000	133.1%
MD336計	336MDC 高岡 英治	澤 辰水	1,248,859	41,029	69,927	1,359,816	1,050,000	129.5%
337-A	福岡・長崎	中村 巧	558,948	52,536	12,647	624,131	500,000	124.8%
337-B	大分・宮崎	下堂茵 一将	127,243	11,833	3,204	142,279	200,000	71.1%
337-C	佐賀・長崎	古賀 義行	254,065	21,804	8,222	284,091	230,000	123.5%
337-D	鹿児島・沖縄	新里 正雄	229,763	5,500	2,941	238,204	200,000	119.1%
337-E	熊本	伊藤 竜彦	149,383	2,280	1,220	152,884	150,000	101.9%
MD337計	337MDC 吉村 千鶴子	新里 正雄	1,319,401	93,954	28,234	1,441,590	1,280,000	112.6%
MD334・335計	334・335 SAL 夏 有民		4,436,454	179,493	150,234	4,766,181	4,250,000	112.1%
MD336・337計	336・337 SAL 橋本 充好		2,568,261	134,983	98,162	2,801,405	2,330,000	120.2%
西日本計	西日本AL 松岡 勲		7,004,714	314,476	248,396	7,567,586	6,580,000	115.0%
全日本合計	全日本AL 丸山 正芳		10,883,131	468,981	417,751	11,769,862	10,050,000	117.1%

## MD336クラブ（クラブ支部）及び会員増減

		クラブ数	新結成	解散	クラブ数 増減	クラブ支部 数	新結成	会員数	入会者数	退会者数	会員数 増減	男性 会員数	女性 会員数	女性の 割合	家族会員 (子会員)	子会員の 割合	男性 子会員数	女性 子会員数	子会員を除く 会員数	
2024～2025	336-A																			
2024年6月末	336-A	134	0	1	-1	16	5	4,949	451	530	-79	3,803	1,146	23.2%	732	14.8%	154	570	4,217	
2023年6月末	336-A	135	0	2	-2	11	5	5,028	359	508	-149	3,863	1,164	23.2%	749	14.9%	151	598	4,279	
2022年6月末	336-A	137	0	3	-3	6	1	5,177	392	629	-237	3,992	1,185	22.9%	794	15.3%	157	637	4,383	
2021年6月末	336-A	140	0	0	0	5	0	5,414	395	499	-104	4,152	1,262	23.3%	855	15.8%	171	684	4,559	
2020年6月末	336-A	140	0	2	-2	5	1	5,518	399	674	-275	4,304	1,214	22.0%	835	15.1%	164	671	4,683	
2024～2025	336-B																			
2024年6月末	336-B	81	0	2	-2	14	0	2,376	246	236	10	1,988	388	16.3%	197	8.3%	42	161	2,179	
2023年6月末	336-B	83	0	2	-2	14	1	2,360	198	299	-101	1,992	368	15.6%	194	8.2%	39	155	2,166	
2022年6月末	336-B	85	0	2	-2	13	1	2,461	153	322	-169	2,049	412	16.7%	225	9.1%	44	181	2,236	
2021年6月末	336-B	87	1	3	-2	12	1	2,630	165	310	-145	2,190	440	16.7%	243	9.2%	46	197	2,387	
2020年6月末	336-B	89	0	1	-1	11	1	2,775	191	337	-146	2,310	465	16.8%	271	9.8%	52	219	2,504	
2024～2025	336-C																			
2024年6月末	336-C	76	0	3	-3	21	4	2,727	227	287	-60	2,239	488	17.9%	285	10.5%	50	236	2,442	
2023年6月末	336-C	79	0	0	0	17	8	2,787	214	285	-71	2,285	502	18.0%	309	11.1%	52	257	2,478	
2022年6月末	336-C	79	0	3	-3	11	1	2,858	179	324	-145	2,355	503	17.6%	342	12.0%	65	277	2,516	
2021年6月末	336-C	82	0	1	-1	10	4	3,003	211	277	-66	2,466	537	17.9%	384	12.8%	75	309	2,619	
2020年6月末	336-C	83	0	3	-3	6	2	3,069	215	358	-143	2,531	538	17.5%	392	12.8%	71	321	2,677	
2024～2025	336-D																			
2024年6月末	336-D	82	0	2	-2	11	4	2,544	225	287	-62	2,240	304	11.9%	94	3.7%	11	88	2,450	
2023年6月末	336-D	84	0	0	0	7	2	2,606	212	235	-23	2,283	322	12.4%	103	4.0%	12	91	2,503	
2022年6月末	336-D	84	0	4	-4	5	1	2,629	177	301	-124	2,310	319	12.1%	119	4.5%	15	104	2,510	
2021年6月末	336-D	88	0	0	0	4	0	2,753	188	255	-67	2,414	339	12.3%	129	4.7%	18	111	2,624	
2020年6月末	336-D	88	0	0	0	4	1	2,820	238	336	-98	2,501	319	11.3%	141	5.0%	20	121	2,679	
2024～2025	MD336																			
2024年6月末	MD336	373	0	8	-8	62	13	12,596	1,149	1,340	-191	10,270	2,326	18.5%	1,308	10.4%	257	1,055	11,288	
2023年6月末	MD336	381	0	4	-4	49	16	12,781	983	1,327	-344	10,423	2,356	18.4%	1,355	10.6%	254	1,101	11,426	
2022年6月末	MD336	385	0	12	-12	33	4	13,125	901	1,576	-675	10,706	2,419	18.4%	1,480	11.3%	281	1,199	11,645	
2021年6月末	MD336	397	1	4	-3	29	5	13,800	959	1,341	-382	11,222	2,578	18.7%	1,611	11.7%	310	1,301	12,189	
2020年6月末	MD336	400	0	6	-6	24	5	14,182	1,043	1,705	-662	11,646	2,536	17.9%	1,639	11.6%	307	1,332	12,543	

## 四半期会員増強計画

		336-A		336-B		336-C		336-D		MD336	
		期首人数	4,949	期首人数	2,376	期首人数	2,727	期首人数	2,544	期首人数	12,596
		目標人数	5,009	目標人数	2,396	目標人数	2,747	目標人数	2,564	目標人数	12,716
		目標	実績								
7~9月	会員増強	140		50		100		50		340	0
	退会見込み	110		45		30		40		225	0
10~12月	会員増強	140		30		40		70		280	0
	退会見込み	110		25		70		50		255	0
1~3月	会員増強	140		70		50		60		320	0
	退会見込み	110		65		40		50		265	0
4~6月	会員増強	110		66		40		40		256	0
	退会見込み	140		61		70		60		331	0
会員増強計画 合計		530	0	216	0	230	0	220	0	1196	0
退会見込み 合計		470	0	196	0	210	0	200	0	1076	0
会員増強目標 (必達)		60	0	20	0	20	0	20	0	120	0

### 会員増強に対する具体的な行動計画

336-A	ガバナーチーム、GAT各コーディネーター、RC、ZC、地区委員と情報共有し、今期、2つのクラブのエクステンション及び、5つのクラブ支部結成を必ず達成する。また、退会防止には会員種別を活用する。
336-B	GMTを中心として今期同様の会員拡大数値を各クラブに提示して依頼する。女性を中心として新クラブ結成チームを結成する。学生会員の拡大にも向けたチーム作り。メンバー以外への理解を広める企画作り。
336-C	地区内76クラブにGMA目標を定め、リジョン・ゾーン単位で具体的な会員増強目標を設定する。RC・ZCにクラブのサポートを促す。少人数クラブの解散・退会者防止対策のため、さらなる会員満足度向上を図る。各ゾーン1支部（11支部）新設を目標とする。
336-D	GMT を中として会員増強の目標設定を明確にし毎月のチェック及び問題があれば迅速に対応する。RC,ZCに情報の共有化を図る。支部結成に向けて、成功事例、活動状況をSNSなど利用しクラブ支部の活動を紹介し新規クラブ結成に結び付ける。
MD336	各地区ガバナー目標達成に向けて支部・女性会員・学生会員増強に取り組む。少人数クラブの地区役員免除など解散防止対策を講じる。GMA研修会を実施して各クラブに再度十分理解させる。次世代リーダーを各リジョン・ゾーンで発掘・指導育成する。

2024年5月20日

複合地区ガバナー協議会議長及び次期議長予定者 各位  
次期複合地区 GAT (GLT, GMT, GST, SCP/FWT) コーディネーター予定者 各位  
次期複合地区 LCIF コーディネーター 各位

2023-2024 年度

GAT 会則地域リーダー 元国際会長 山田 實紘  
GAT エリアリーダー LCIF 理事 鈴木 誓男  
GAT エリアリーダー 松岡 勲  
GAT エリアリーダー 小川 晶子

## ミッション 1.5 達成に向けた

### 次期複合地区 GAT/LCIF コーディネーター予定者研修会のご案内

年度末を迎えるにあたり、皆様におかれましてはお忙しくお過ごしのことと存じます。また、今年度、ミッション 1.5 達成に向けて日々ご尽力いただいていることに感謝申し上げます。そして、6月30日までまだ1か月ありますので、引き続きどうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、急なご案内となり大変恐縮ですが、次期複合地区 GAT (GLT, GMT, GST, スペシャルティクラブ・FWT) および LCIF コーディネーターを対象とした研修を実施いたしますので、以下の通りご案内申し上げます。二年目を迎えるミッション 1.5 を戦略的かつ確実に実行、達成していくため、複合地区コーディネーターとしての役割をご理解いただくとともに、ライオンズ・インターナショナルのリソースを有効にご活用いただけるよう、ワークショップを通じて学んでいただく機会となります。研修はオンライン参加の対応も予定しておりますが、懇親会も予定しておりますので、万障お繰り合わせの上、対面研修にご参加いただけますようお願い申し上げます。

議長及び次期議長予定者の皆様におかれましては、次期 GAT/LCIF コーディネーターの研修出席にご理解を賜れますようお願い申し上げます。

なお、出席に伴います旅費・宿泊費等につきましては、各複合地区もしくは各自ご対応をお願いいたします。また、宿泊につきましても、必要であれば各自でご手配をお願いいたします。

記

1. 日程：2024年6月5日（水）

研修：午後1時30分～午後5時 懇親会：午後6時～8時

**From:** GATJapan <GATJapan@lionsclubs.org>

**Sent:** Tuesday, July 9, 2024 5:12 PM

**To:** 330 複合地区カ`ハ`ナー協議会事務局 (lions@md330.jp) <lions@md330.jp>; md331@ruby.ocn.ne.jp; md332 ライオンズクラブ <md332lc@gmail.com>; 333 複合地区カ`ハ`ナー協議会事務局 (md333@nifty.com) <md333@nifty.com>; 334 複合地区カ`ハ`ナー協議会事務局 (lions334@lilac.ocn.ne.jp) <lions334@lilac.ocn.ne.jp>; ガバナー協議会事務局 335 複合地区 <md335@lionsclubs.gr.jp>; MD337 ライオンズ <md337@ceres.ocn.ne.jp>; MD336 <admin@lions-md336.org>

**Cc:** OSEALStaff <OSEALStaff@lionsclubs4.onmicrosoft.com>

**Subject:** 2024-2025 年度国際協会主催研究会の申請について

複合地区ガバナー協議会議長 各位  
複合地区 GLT コーディネーター 各位

## 2024-2025 年度国際協会主催研究会の申請について

今年度会則地域 5 (OSEAL) で実施する研究会は、講師育成研究会 (FDI) とライオンズ公認講師プログラム (LCIP) です。

<https://www.lionsclubs.org/ja/resources-for-members/resource-center/leadership-development-institutes>

いずれの研究会も協会の予算を使って、ライオンズのリーダー育成という重要な目的を果たすために実施される研修会です。参加者は、今後この研究会で学ばれたことを活かして次のリーダーを育て、自ら会員拡大、奉仕事業の拡大、LCIF への理解促進に貢献することが期待されています。資格を満たす会員は、それぞれ協会のウェブサイトから参加申し込みが可能ですが、日本からの参加者については、各複合地区内の講師数のバランスや必要性を判断して最適な会員が参加していただけるように、各複合地区の責任の下、推薦いただくようお願いしております。意欲のあるライオンに国際協会主催の研究会に参加いただける機会を促進し、各複合地区、地区内で活躍できる講師を育成していただけますようお願いいたします。

各複合地区協議会議長と複合地区 GLT コーディネーターは、それぞれ複合地区内でのセミナーや研修はできる限り自複合地区内の会員が講師を務める、そのための講師を育成することを念頭に、LCIP に関しては各複合最低 1 名、可能な限り 2 名を推薦する、FDI については各複合最低 3 名、可能な限り 4 名を推薦するようにお願いいたします。

なお、貴複合地区内の過去の FDI、LCIP 受講者が現在講師として活躍しているかどうか、計画されている研修会等に必要な講師が所属各地区にいるかどうかなどご確認の上、推薦方法はそれぞれの複合地区でご判断ください。

募集人数を超える推薦をいただいた場合には、リーダーシップ部および GAT エリアリーダーが参加者を決定いたします。

なお、個人でウェブサイトから申請された方についても、推薦者と合わせた上で最終決定の前に確認をいたします。

### 1. LCIP

<https://www.lionsclubs.org/ja/resources-for-members/resource-center/lions-certified-instructor-program>

開催日：2024 年 11 月 1 日～4 日

開催地：タイ・バンコク

募集人数：10 名

申請書提出先：オセアル調整事務局 [gatjapan@lionsclubs.org](mailto:gatjapan@lionsclubs.org)

提出期限：**2024 年 7 月 31 日 (水)**

### 2. FDI

<https://www.lionsclubs.org/ja/resources-for-members/resource-center/advanced-lions-leadership-institute>

開催日：2025 年 2 月 7 日～9 日

開催地：ベトナム・ホーチミン

募集人数：25 名

申請書提出先：オセアル調整事務局 [gatjapan@lionsclubs.org](mailto:gatjapan@lionsclubs.org)

提出期限：**2024 年 9 月 26 日 (木)**

提出期限はそれぞれオセアル調整事務局への提出期限とし、ウェブサイトに掲載されている締切日とは異なりますのでご注意ください。

GAT 会則地域リーダー 元国際会長 山田實紘  
GAT エリアリーダー (GLT/GST 担当) 識名安信



各準地区GST（グローバル奉仕チーム）に伴う報告書まとめ

※各準地区キャビネットにおける年間取り組みについてのアンケート

名称	開催時期	開催規模	対象者	目的	備考
報告者：336-A地区 GSTコーディネーター 平田 治由					
1 薬物乱用防止教室認定講座	2024.1	100名	L	講習	確定
2 検眼・献血研修会	未定	100名	L	講習	予定
3 1型糖尿病動画研修	2024-25	2500名	L	研修	予定
4 ライオンズクエストワークショップ	未定	50名	L	WS	予定
MEMO GST活動報告ですが、A地区での各リジョン・ゾーン、クラブの活動を主に置き地区活動の域に広がっていないのが現状です。地区全体の取り組みとしての活動は、地区ガバナーの意向に沿い関係領域の活動につき、焦点を絞り対応する姿勢です。GST活動の範囲において、地区として特別の活動を図るのではなく、常設事業委員会との連携を図り委員会機能をより充実させ、会員満足度向上も含めた活動支援に視点を持ち取り組もうとしています。従って、複合地区から求めている地区全体としての取り組みは、計画・模索していないのが実態です。地区全体で取り組みとなると、開催地により地域性が大きく影響してきます。その対策として複数回と開催地の検討も必要と判断しています。参加対象者の時間的制限・旅費など考えると地区全体の開催が効果的な取り組みかどうか地区キャビネット関係者とも打合せが必要と思っています。					
報告者：336-B地区 GSTコーディネーター 住吉 孝文					
1 薬物乱用防止教室認定講座	11.2 11.29	100名	L	講習	確定
2 小児がん支援事業（仮）	未定	未定	L・一般	支援	予定
3 地域社会へのPR・募金活動（仮）	未定	800名	一般	PR・支援	予定
報告者：336-C地区 GSTコーディネーター 横路 望					
1 災害支援物品保管倉庫備品納品	2024.7		災害支援	アラート	確定
2 県内社会福祉協議会との協定締結	2024.7		社協	アラート	確定
3 英数学館ライオンズゲストセミナー	2024.7	30名	教職員	セミナー	確定
4 広島市立亀崎小ライオンズゲストセミナー	2024.7	30名	教職員	セミナー	確定
5 LT・TT研修会	2024.7	80名	メンバー	セミナー	確定
6 薬物乱用防止認定講師講習会(西部)	2024.9	100名	学生・メンバー	講習会	確定
7 薬物乱用防止認定講師講習会(東部)	2024.9	100名	学生・メンバー	講習会	確定
8 PEACE STOCK 79"	2024.9	15,000名	一般	PR・奉仕	確定
9 ライオンズゲスト会員向けワークショップ(西部)	2024.9	30名	教員・メンバー	体験	確定
10 ライオンズゲスト会員向けワークショップ(東部)	2024.9	30名	教員・メンバー	体験	確定
11 地区FWT研修会 輝ける女性セミナー	2024.10	100名	一般・メンバー	セミナー	確定
12 次世代リーダー育成セミナー	2024.11	20名	メンバー	セミナー	予定
13 新会員オリエンテーション(広島)	2025.3	50名	メンバー	セミナー	予定
14 新会員オリエンテーション(福山)	2025.3	50名	メンバー	セミナー	予定
15 フラワーフェスティバル小児がん支援メモードスタート	2024.5	5,000名	一般	奉仕	予定
報告者：336-D地区 GSTコーディネーター 清水 敏昭					
1 薬物乱用防止教室認定講座	2024.1	100名	L	講習	確定
2 検眼・献血研修会	未定	100名	L	講習	予定
3 1型糖尿病動画研修	2024-25	2500名	L	研修	予定
MEMO：1型糖尿病に関する約15分の動画を作成し、各クラブの例会で上映し、1型糖尿病に対する理解を深めてもらう。動画は地区のYouTubeチャンネルにもアップする。					
4 ライオンズクエストワークショップ	未定	50名	L	WS	予定

※その他ご意見、所属地区クラブ内にて特殊なアクティビティなどありましたらお知らせください  
ご協力ありがとうございました MD336 GST

# ウィーン（オーストリア）で見かけたアクティビティ

2023年3月 国連麻薬委員会に広島の大学生3名と同行してウィーンに訪問しました。

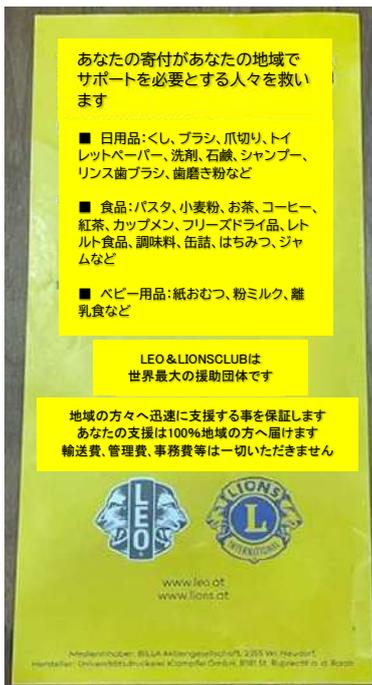
ウィーン市街で地元ライオンズクラブのアクティビティに遭遇しました。

このアクティビティを私は今までに見かけたことも聞いたこともありません。

素晴らしいアクティビティだと感じたので紹介させていただきます。

336-C地区GSTコーディネーター

横路



## 内容

スーパーに買い物に来るお客様に支援品を購入していただきます。  
その支援品をLIONSが責任をもって届ける！  
という活動(支援品の数は任意)です



## 日本での応用例

- ・ 子供食堂への食材提供
- ・ 要支援家庭への配布

## メリット

- ・ 地域の人々を巻き込んでの活動 (PR効果大)
- ・ 少人数のクラブでも可能
- ・ 簡単に開催できて出費も小さい

## アクティビティの手順

スーパーの入り口にはライオンズクラブがアクティビティをしている事を知らせる立て看板を掲げてPRしています



スーパー出口で別のLCメンバーが品物を受け取りLCシールを貼り用意した箱に詰めていきます



LCメンバーはスーパーの入り口で前ページのビラを配布して呼びかけます。



箱詰めされた品物

スーパー側にもメリット

- ・地域支援している事をPR
- ・商品（支援品）が売れる

336複合地区会員増強報告＜2023-2024年度＞

地区	目標	開始数字	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	増減	女性比率	
336-A	総会員数純増 135名	5,028	19	-9	-3	21	20	-29	31	-8	-8	9	11	-133	-79	学生3	
	女性会員数 60名	1,164	-5	-13	-1	14	5	-11	14	1	-2	-1	3	-22	-18	23.15%	
	女性会員目標 25.0%	23.22%	22.96%	22.75%	22.74%	22.92%	22.93%	22.85%	22.98	23.40%	23.03%	22.97%	22.98%	23.15%	-0.07%		
	支部結成目標 9支部	11	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	1	0	1		5
	家族会員数 0名	737	-9	-18	0	6	1	-7	21	1	2	-2	0	-12	-17		
	新クラブ結成目標 1クラブ	135	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
336-B	総会員数純増 10名	2,354	30	7	4	0	5	-19	10	5	-21	5	8	-12	22		学生6
女性会員数 0名	371	-2	3	4	0	2	-1	-1	2	2	-4	5	-27	39	20	16.45%	
女性会員目標 %	15.76%	15.48%	15.55%	15.69%	15.70%	15.75%	15.83%	15.73%	15.77%	15.75%	15.92%	14.72%	16.45%	0.69%			
支部結成目標 3支部	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
家族会員数 0名	193	-1	0	-1	-1	0	1	0	0	0	0	-2	-1	8	3		
新クラブ結成目標 1クラブ	83	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
336-C	総会員数純増 50名	2,787	33	27	-5	2	8	-42	12	3	-9	-7	16	-96	-58		学生4
女性会員数 65名	502	1	3	-2	2	0	-13	6	5	-2	2	1	-17	-14	-14	17.88%	
女性会員目標 20.0 %	18.01%	17.83%	17.77%	17.73%	17.79%	17.74%	17.51%	17.68%	17.84%	17.83%	17.94%	17.89%	17.88%	-0.13%			
支部結成目標 11支部	17	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	4		
家族会員数 7名	309	2	0	-1	0	-2	-12	-1	0	0	0	0	-2	-8	-24		
新クラブ結成目標 1クラブ	79	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
336-D	総会員数純増 30名	2,596	34	-5	-7	3	3	-10	0	19	-13	6	6	-86	-50		学生5
女性会員数 5名	322	0	0	0	0	-3	-4	0	0	6	0	-4	1	-14	-18	11.90%	
女性会員目標 %	12.40%	12.24%	12.16%	12.08%	12.29%	12.16%	12.04%	12.02%	12.19%	12.29%	12.07%	12.08%	11.90%	-0.50%			
支部結成目標 5支部	7	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	1	4		
家族会員数 0名	101	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-4	0	-5	-9		
新クラブ結成目標 1クラブ	84	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		

## 第6回アラート委員会会議議事録<sup>案</sup>

2024年5月15日(水) 15:00~17:00

日本ライオンズ事務所+ZOOMシステム

### 出席者リスト

#### 一般社団法人日本ライオンズ

理事長	田名部 智之	(八戸LC)
専務理事	増澤 義治	(諏訪湖LC)
アラート委員会委員長	池原 堅	(福山久松LC)
アラート委員会副委員長	新里 正雄	(沖縄LC)

#### 日本ライオンズ アラートチーム

統括リーダー	佐々木 健太	(大阪若獅子LC)
東日本統括リーダー	木村 知紀	(青森ZERO LC) <b>【WEB】</b>
西日本統括リーダー	藤井 信英	(岡山みらいLC)

#### アラート委員

MD330委員	増田 正明	(東京田無LC)
MD331委員	浅野 敬一	(北見中央LC)
MD332委員	木川田 明弘	(仙台高砂LC) <b>【WEB】</b>
MD333委員	中田 泰範	(新潟東LC) <b>【WEB】</b>
MD334委員	堀岡 昭夫	(金沢東LC)
MD335アラートアドバイザー	平田 佳之	(大阪狭山LC)
MD336委員	西尾 慎一	(鳥取LC)
MD337委員	高野 裕子	(熊本平成LC) <b>【WEB】</b>
委員長補佐・MD333アラート班長	若林 純也	(水戸葵LC)



### ・議案3 災害支援功労者に対する社団からの感謝状贈呈について

佐々木統括リーダーから提案。規約変更に伴い今期でアドバイザー職が終了となることから、元アドバイザーへ贈呈を行いたい。各地区委員賛成。

また社団として感謝状の発行にはもう少し広く意見を募ることや、協議が必要であるとの意見、各複合地区、準地区においても何らかの表彰があってもいいと提案あり。今回はアラート委員長名にて作成する。

### ・議案4 その他

#### ・来期以降の功労者表彰規定について

来期以降意見を聞き、表彰規定を整備したい。参加者へ意見が求められた。

複合・地区より推薦を頂く案も出たがあまりにも対象者が広範囲であるため、一度規定のたたき台を作成し、対象者や表彰理由などを含め、規定を整備するのが大切であるとの意見。アラート委員会内より担当者を選出し、規定を作成する。

他の委員会との兼ね合いから、アラートだけというのは難しいという意見もあり、社団の理事長名ではなくアラート委員長名での発行や全国アラートフォーラムの中で贈呈するのが良いのではないかという案も出された。

#### ・報告事項

・334-D 地区で設置していた支援金口座について、2024年6月末日をもって閉設となることが報告された。

・次年度全国アラートフォーラムは2025年3月14日（金）茨城県水戸市 水戸市民会館にて行われることが報告。現在 MD336 にある前回岡山での開催時の余剰金は今月中に日本ライオンズへ移動し、日本ライオンズから次期開催地である MD333 へ振り込む。

以上

議事録作成人

MD331 委員 浅野敬一

MD337 委員 高野裕子

## アラート委員会引継ぎ会議議事録

2024年7月2日(火) 13:30~16:30

日本ライオンズ事務所+ZOOM システム

### 一般社団法人日本ライオンズ

2023-24年度	理事長	田名部 智之	(八戸 LC)
2024-25年度	理事長予定者	松浦 淳一	(岩見沢はまなす LC)
2023-24年度	専務理事	増澤 義治	(諏訪湖 LC)
2023-24年度	アラート委員会委員長	池原 堅	(福山久松 LC)
2024-25年度	アラート委員会委員長予定者	新里 正雄	(沖縄 LC)

### 2023-24年度 日本ライオンズ アラートチーム

全域統括リーダー	佐々木 健太	(大阪若獅子 LC)
東日本統括リーダー	木村 知紀	(青森 ZERO LC)
西日本統括リーダー	藤井 信英	(岡山みらい LC)

### 2023-24年度 アラート委員

MD330 委員	増田 正明	(東京田無 LC) 【欠席】
MD331 委員	浅野 敬一	(北見中央 LC)
MD332 委員	木川田 明弘	(仙台高砂 LC) 【欠席】
MD333 委員	中田 泰範	(新潟東 LC) 【欠席】
MD334 委員	堀岡 昭夫	(金沢東 LC) 【欠席】
MD335 委員代理	中谷 豊重	(岸和田 LC)
MD336 委員	西尾 慎一	(鳥取 LC)
MD337 委員	高野 裕子	(熊本平成 LC)

### 2024-25年度 アラート委員

MD330 委員	大屋 保	(川越 LC)
MD332 委員	門馬 弘	(原町 LC)
MD333 委員	蓼沼 一弘	(葛生 LC)
MD334 委員	吉田 正義	(榛南 LC)
MD335 委員	西尾 良典	(大阪北 LC)
2023-24年度委員長補佐・MD333 アラート班長	若林 純也	(水戸葵 LC)

- ・開会宣言 23-24 年度 アラート委員会委員長 L 池原 堅
  - ・一般社団法人日本ライオンズ 23-24 年度理事長ご挨拶 L 田名部 智之
  - ・一般社団法人日本ライオンズ 24-25 年度理事長予定者ご挨拶 L 松浦 淳一
  - ・出席者の確認
  - ・議事録作成人 MD330 委員 L 大屋 保  
MD332 委員 L 門馬 弘
- 以上、2 名が指名された。

### ●議案 1 アラート委員会引継ぎ事項

- ・能登半島地震の能登災害支援ベースキャンプ 収支決算報告及び預り金について、佐々木全域統括リーダーより資料を用いて報告がされた。
- ・能登ベースキャンプについての報告が行われた。  
3 リジョン、3 ゾーン、7 クラブで協力して使用していく旨を山本ゾーン・チェアパーソンより聞いているとの報告があった。また、ベースキャンプ問合せ用の携帯端末を佐々木全域統括リーダーの方で用意し、山本ゾーン・チェアパーソンへ渡しており、管理者についても山本ゾーン・チェアパーソンへお願いしているとの報告があった。
- ・3 3 4 -D 地区支援金状況について池原アラート委員長より行われた。  
3 3 4 -D 地区の小出前ガバナーより集まった支援金の金額と、使い道についての報告を受けていると報告。詳細については今後確認予定である。また、本件について藤井西日本統括リーダーより詳細の補足がなされた。  
6 月中旬に次期対策本部の引継ぎ会が行なわれ、支援金の使用目的等について、現地区ガバナーへ提出した。基本的に珠洲市をメインに、復興にそのお金を使用すると聞いている。LCIF との支援金と合わせて使い道を検討中であり、報告がある予定。  
その他、能登 BASE 関係支援金の余剰金が発生した場合の今後の取扱いについて新里アラート委員長より報告があった余剰金が出た場合は社団へお戻し頂きたいと依頼していると報告。但し、余剰金が発生するか否かについては現段階では未だ不明であり、今後ガバナーとの詳細についての調整が必要であると報告。
- ・一般社団法人日本ライオンズ・アラート委員会運営規則について、委員長を務めるのが 1 年理事から 2 年理事に変更となった際に規則の変更がなされていなかったため、変更する必要があったと池原アラート委員長より説明がなされ資料も添付された。赤文字部分が変更箇所であり、2024 年 2 月 26 日付での改定にて承認をいただいていると報告。また、その他変更箇所についての詳細な説明が佐々木全域統括リーダーより行われた。

## ●議案 2 2024-2025 年度第 1 回アラート委員会準備会議

- ・新年度委員会組織について、新里アラート委員長より運営組織図資料を用いて報告がされた。  
議長に就任されたため、藤井西日本リーダーは退任され、公認としてL畑中が推薦予定である。  
また各 MD の班長の選出についても決まり次第佐々木リーダーへ御連絡いただくよう呼びかけがあり。
- ・年度委員会開催日程について(上期 3 回 下期 3 回)  
今年度の日程については未確定のため、参考資料として前年度の社員総会資料を用いられた。委員会終了後、改めてスケジュールリングする。
- ・委員長・班長研修会について、前年度は能登の地震の影響によりに実施できなかったが、今年度については以下のとおり予定していると木村統括リーダーより報告がなされた。  
委員研修・・・9～10 月中に開催予定。MD アラート委員長としての役割・MD アラート委員会規定・地区アラート委員会規定等直接的支援ではなく組織構築に向けての取組研修を行う。  
班長研修・・・9～10 月中開催予定。マッチング及びコーディネート能力向上を目的に、各準地区に対し、災害支援の知識や組織的な支援の研修を行う。※準地区委員長（副班長）との連携含む。  
なお、研修に関しては東西分けて開催が合同で開催かは今後協議の上決定する。
- ・全国アラートフォーラムについて、若林委員長より 2025/3/14（金）に茨城県水戸市の水戸市民会館にて PM～夕方にて開催し、夜は懇親会開催予定との報告があった。フォーラム 500 人、懇親会 300 人規模での開催イメージ。詳細については今後決定次第ご報告とのこと。実行委員会を立ち上げるので、組織図を7月中に作成の上皆さんに共有しますと佐々木統括リーダーより補足説明あり。
- ・アラート委員会名刺について  
増澤専務理事にて名刺のデザインを作成、各複合地区へデータを送付いただく予定となっている。作成費用の負担については、各複合地区または個人負担となるが、デザインについては社団にて統一をお願いしたいとのこと。

## ●議案 3 その他

- ・研修等実施時に発生する経費や会場の借上げ費用は社団にて負担していただけるのかどうかという意見あり。社団として、各委員会のバックアップをしていきたいと考えているが、協議が必要なため時間をいただきたいとのこと。なお、東京の日本ライオンズ事務所を会場としてを使用いただければ会場費用は不要だが許容人数以上の人数が集まり別途会場の手配が必要となった場合は、決裁を取得していただければ問題ないのではないかとのこと。  
また、情報の伝達をより強固にするためエリア統括リーダーも各地区の MD 構成委員に加入したいという意

見が出たが、関わり方など対応は慎重にすすめるべきであり、統一するべきとの意見あり。

- ・緊急連絡網を作成してほしいという要望あり。これから作成し、次の委員会までには皆さんのお手元に届くようにしますとの回答。
- ・各 MD 側と社団側で密な連携を図れるような流れを作成してほしいとの要望あり。社団より委員会運営についての要望を各準地区へ案内→各準地区でアラート委員会を開催→各準地区より活動報告等を社団へご報告というような流れを作っていきたいとのこと。
- ・337-E 地区では班長に L 有川 誠を推薦しますとの報告あり。事務局へ書面にて報告をしてほしいとの回答。

●各メンバーより一言

各役員の方々より意気込み等一言ずついただいた。

以上

議事録作成人

MD330 委員 L 大屋 保

MD332 委員 L 門馬 弘

日本ライオンズ発行<2023-24-会-M10>

(2023-2024 年度)

第10回会則委員会(対面)議事要録

◎日 時： 2024年6月17日(月) 15:00-17:00

◎会 場： 日本ライオンズ事務所

◎出席者：

一般社団法人日本ライオンズ：

理 事 長 田名部 智之(八戸LC) 【web】

委 員 長 (MD333 前協議会議長)

松本 宰史 (南房総LC)

副 委 員 長 (MD335 協議会議長)

中谷 豊重 (岸和田LC)

専 務 理 事

増澤 義治(諏訪湖LC) 【欠席】

各複合地区会則委員長：

330 複合地区会則委員長

細川 孝雄 (東京赤坂LC)

331 複合地区会則委員長

馬場 哲也 (函館東LC) 【web】

332 複合地区会則委員長

荒川 友成 (郡山西LC)

333 複合地区会則委員長

岩沼 忠伺 (千葉ネオLC)

334 複合地区会則委員長

野村 善弘 (岡崎竜城LC)

335 複合地区会則委員長

小林 寛 (姫路中央LC)

336 複合地区会則委員長

松岡 諒 (福山久松LC)

337 複合地区会則委員長

高野 正勝 (佐賀葉がくれLC) 【欠席】

日本ライオンズ発行<2023-24-会-M10>

① 開会宣言

松本会則委員長より開会の宣言。

② 出席者確認

欠席の MD337 高野委員からドネーションを請けた。

③ 議事録作成人の指名

小林委員・松岡委員が指名された。

④ 前回議事録の確認

松本委員長より前回議事録の確認事項について説明。

役員必携については、前回委員会以降、増刷し配布した。

主要議案：

1 複合地区年次大会への共通提案事項（複合地区会則、国際理事候補者資格審査委員会規則）  
についての結果報告

(1) 松本委員長から MD330 以外は承認可決されたこと、MD330 は上程されなかった代わりに会則に関する特別検討委員会が設置されたことが報告された。

細川委員から、ガバナー協議会に上程したものの、MD330 ガバナー協議会により複合地区大会への上程が否決されたことが報告された（事後承認的であったことが障害となった可能性があるとのこと。）。

(2) 以下、MD330 の状況に対する委員からの意見

- ・ これまでも、国際理事会で承認された後に同理事会承認事項と矛盾する会則を改正してきたため、事後承認的であったが、これを今回に限って承認しないことは理解できない（改正ポイントが多かったために生じたトラブルか。）。（松本委員長）
- ・ 国際大会で承認済みのものについて、複合地区大会まで必携に反映させないことをよしとするのはおかしい。（松本委員長）
- ・ 国際大会決議の後に、変更部分だけをすぐに知らせるのはどうか。（小林委員）
- ・ 施行期日に関する30条自体に問題があるのではないか。（松本委員長）
- ・ 国際理事会で決まったことに反対することは4条に反している。（中谷副委員長）

## 日本ライオンズ発行<2023-24-会-M10>

- ・ 会則を単に理事会決議事項に合わせることは30条の問題ではないのではないか。(小林委員)
- ・ 日本独自の改正部分と国際理事会の決定事項に基づく改正とを峻別する意識が無いのではないか。(岩沼委員)
- ・ 国際理事候補者資格審査委員会規則は規則という名称ではあるが、8複合の申し合わせ事項的なものであるため、否決する複合があっても立候補することに支障はないだろう。(松本委員長)
- ・ 今回の決議案は改正にあたるため、26、30条に問題は無い。MD330においては、60版の会則で運営するといっても国際理事会方針に矛盾した点があることを認識すべき。矛盾に気付かずに運営をすると、国際会則と矛盾する結果(例えばコーディネーターに投票権を与えないなど)を招きより大きな問題を生じる。(松岡委員)
- ・ 今回の問題はMD330と特定の有力者との確執が発端ではないか。国際理事会の決定事項との矛盾を解消する会則の改正は報告事項で良かったのではないか。(馬場委員)

## 2 メルボルン国際大会公式通達事項について

松本委員長より、第二副地区ガバナー就任資格として各コーディネーターが加わる点と地区再編の点で国際会則・付則の改正があることが報告された。

FWT コーディネーターが第二副地区ガバナー就任資格になっていないことに留意。

## 3 バンクーバー国際理事会決議事項の確認

松本委員長より、会則委員会関連事項として次の点を留意すべきとして説明があった。

- ・ 国際理事会方針書第15章で国際役員推薦要件の改正があったようである。
- ・ 第二地区ガバナーの就任資格に各コーディネーターが加わった。
- ・ 能登災害の関係で、特別非常時ステータスになったクラブがあった。
- ・ 2024FVDG/DGE セミナーで不適切事例があったようである。
- ・ 現在は8つのグローバル重点分野がある。
- ・ GET 設置が義務となった。
- ・ 複合地区 GAT コーディネーターは従前は指名制であったが、承認制に移行した。
- ・ 全世界的にプライバシー情報保護、コンプライアンスについての認識が高まっている。

## 4 次年度申送り事項

(1) コンプライアンス委員会

コンプライアンス委員会の設置に関して次のとおり報告があった。

- ・ MD333 においては、設置不要の意見のエレクトもいた。オセアルから、日本からの紛争処理要請が増えているがコンプライアンス対応はどうなっているかという問い合わせが来た。(松本委員長)
- ・ コンプライアンスに関する事案が大きな問題になっている。怪文書問題、人種差別問題が生じている。(細川委員)
- ・ MD332 では問題が生じた際に委員会を作ることになった。ただし、ひな形は必要と思っている。(荒川委員)
- ・ MD333 では松本委員長が推進している。(岩沼委員)
- ・ MD334 では設置しないという結論になった。ただ、MD334 でも問題が生じたことはあったため今日の議論を踏まえて審議を続けたい。(野村委員)
- ・ MD335 では結論は出ていない。個人的意見としては、そもそもコンプライアンス委員会はライオンズにおいては不要なはず。議論が出ること自体寂しい。たたき台は必要と思うが、人選が難しい。人格者が長年、継続してコンプライアンスに携わるのが望ましい。単に法律を守るという話ではないため、モデル規則 2 条を詳細にすべき。(小林委員)
- ・ MD336 では引き続き来期、議論する。  
人選が困難である点は他の複合と懸念を同じくしている。(松岡委員)
- ・ ガバナー協議会で説明した。引き続き議論を継続するが不要論が多い。  
コンプライアンス規約の悪用を懸念している。(馬場委員)
- ・ 議論自体が寂しい。どのようにして会員の心の中に落としていくかという問題である。禁忌事項は当たり前である。(中谷副委員長)

(2) 役員必携の活用について

- ・ ビデオメッセージを作成し、配信した。(松本委員長)
- ・ MD332 内で、必携、役員必携の購入を強く促した。(荒川委員)

5 その他

- (1) 松本委員長がコンプライアンスに関する記事をライオンズ誌へ投稿したいとの提案があり、

日本ライオンズ発行<2023-24-会-M10>

了承した。

(2) 小林委員より、MD335 でロバート議事規則についての漫画を発刊すると報告があった。

(3) 荒川委員より、他の複合地区会則委員会の構成についての質問があり、他の委員から自地区の構成についての説明があった。

④ 閉会挨拶 田名部理事長

今期の会則委員会では止まっていた事項を動かしていただいた。松本委員長には分かりやすい解説動画も作成いただいた。来期は中谷副委員長に委員長兼専務理事をしていただく。

中谷副委員長より来期へ向けて引き続き邁進していくと挨拶があった。

2024年6月17日

議事録作成人

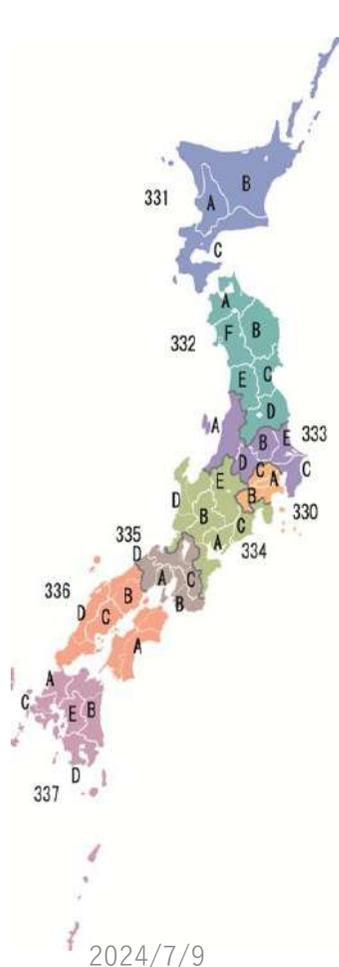
MD335 会則委員会委員長 小林 寛

MD336 会則委員会委員長 松岡 諒

議事録署名人

一般社団法人日本ライオンズ 会則委員会委員長 松本 宰史

## ワークショップ開催数（地区別、2024年7月現在）



複合地区	準地区	2018-19	2019-20	2020-21	2021-22	2022-23	2023-24	2024.7-9
330		2	4	3	3	2	3	2
331		3	4		2	1	4	
332		7	9	3	4	2	8	3
333		21	21	2	12	11	17	13
334		23	11	2	7	8	10	9
335		22	21		7	15	22	20
336	<i>A</i>	<i>3</i>	<i>2</i>				<i>4</i>	<i>3</i>
	<i>B</i>		<i>1</i>					
	<i>C</i>	<i>6</i>	<i>6</i>		<i>1</i>	<i>2</i>	<i>3</i>	<i>2</i>
	<i>D</i>	<i>1</i>	<i>1</i>				<i>2</i>	
		<b>10</b>	<b>10</b>		<b>1</b>	<b>2</b>	<b>9</b>	<b>5</b>
337		20	20	2	5	15	18	15
合計		108	100	12	41	56	91	67

(2024年7-9月期は2024年7月現在の計画です。)

## 336複合地区内ライオンズクエスト・ワークショップ開催実績（2018年7月～2024年6月）および計画（2024年7月～9月）

	地区	開催日①	開催日②	都道府県	市区町村	対象	参加者数	主催クラブ	主催教育委員会・学校
1	336-A	2018年7月14日		愛媛県	四国中央市	緑ヶ丘認定こども園・愛和認定こども園	28	川之江LC	
2	336-C	2018年7月28日	7月29日	広島県	広島市	広島市立三入中学校・他	16	336-C地区3R3Z（可部地区）	
3	336-C	2018年8月6日	8月7日	広島県	福山市	市内私立校（小・中学校、高校）	26	336-C地区1R1Z（福山地区）	
4	336-C	2018年8月7日	8月8日	広島県	廿日市市	廿日市市立佐伯中学校区	24	宮島口LC	
5	336-D	2018年8月9日	8月10日	島根県	松江市	松江市立東出雲中学校	7	東出雲LC	
6	336-C	2018年8月20日	8月21日	広島県	廿日市市	廿日市市立四季が丘中学校区	40	宮島口LC	
7	336-A	2018年8月21日	8月22日	徳島県	鳴門市	市内小・中学校	18	鳴門LC	
8	336-C	2018年12月15日	12月16日	広島県	三原市	市内小・中学校	15	三原LC	
9	336-A	2019年1月26日	2月2日	徳島県	鳴門市	認定子ども園IZUMI	21	鳴門LC	認定子ども園IZUMI
10	336-C	2019年2月9日	2月10日	広島県	竹原市	市内小・中学校	25	竹原LC	
11	336-C	2019年7月27日	7月28日	広島県	広島市	安佐北区内小・中学校	22	北広島千代田LC	
12	336-C	2019年7月29日	7月30日	広島県	福山市	市内私立校（小・中学校、高校）	22	336-C地区1R1Z（福山地区）	近大付属福山校（2019幹事校）
13	336-B	2019年8月2日		岡山県	岡山市	就実中学校・高等学校	16	岡山LC	就実中学校・高等学校
14	336-C	2019年8月7日		広島県	世羅町	町内小・中学校・高校	17	世羅甲山LC	世羅町教育委員会
15	336-C	2019年8月7日	8月8日	広島県	廿日市市	市内小・中学校	25	宮島口LC	廿日市市教育委員会
16	336-C	2019年8月19日	8月20日	広島県	東広島市	東広島市内小・中学校、他	15	東広島あきつLC	東広島市教育委員会
17	336-A	2019年8月20日		徳島県	鳴門市	市内小・中学校・他	20	鳴門LC	
18	336-A	2019年8月22日	8月23日	高知県	土佐市	市内小・中学校	22	土佐LC	土佐市教育委員会
19	336-C	2019年8月22日	8月23日	広島県	広島市	広島市立瀬野川中学校	23	広島もみじLC	広島市立瀬野川中学校
20	336-D	2020年2月1日		島根県	出雲市	きんろう保育園	30	出雲LC	社会福祉法人きんろう保育園
21	336-C	2021年7月27日	7月28日	広島県	福山市	市内私立校（小・中学校、高校）	15	336-C地区1R1Z（福山地区）	英数学館（2021幹事校）
22	336-C	2022年7月27日	7月28日	広島県	福山市	市内私立校（小・中学校、高校）	13	336-C地区1R1Z（福山地区）	ぎんがの郷小学校（2022幹事校）
23	336-A	2022年7月28日		高知県	高知市	学校法人高知学園 高知中学高等学校	11	高知LC、高知LCとさみずき支部	学校法人高知学園 高知中学高等学校
24	336-C	2023年7月27日	7月28日	広島県	福山市	市内私立校（小・中学校、高校）	14	336-C地区1R1Z（福山地区）	近大付属福山校（2023幹事校）
25	336-A	2023年7月28日		高知県	高知市	学校法人高知学園 高知中学高等学校	9	高知LC	学校法人高知学園 高知中学高等学校
26	336-A	2023年8月19日		徳島県	鳴門市	市内小・中学校・他	23	鳴門LC	
27	336-A	2023年8月25日		高知県	土佐市	土佐市内小・中学校	13	土佐LC	
28	336-C	2023年9月20日		広島県	福山市	地区内（西部）ライオンズクラブメンバー	20	336-C地区	
29	336-C	2023年9月21日		広島県	広島市	地区内（東部）ライオンズクラブメンバー	17	336-C地区	
30	336-A	2024年3月31日		香川県	高松市	香川県内のライオンズクラブメンバー	20	高松東LC	
31	336-D	2024年6月15日		山口県	山口市	336-D地区内（山口）のライオンズクラブメンバー	17	336-D地区	
32	336-D	2024年6月16日		島根県	大田市	336-D地区内（島根）のライオンズクラブメンバー	19	336-D地区	
33	336-C	2024年7月25日	7月26日	広島県	福山市	市内私立校（小・中学校、高校）	15	336-C地区1R1Z（福山地区）	英数学館（2024幹事校）
34	336-C	2024年7月26日		広島県	広島市	広島市立亀崎小学校		336-C地区3R3Z（可部地区）	広島市立亀崎小学校
35	336-A	2024年8月9日		香川県	高松市	高松市内の小・中学校・他		高松東LC	
36	336-A	2024年8月20日		徳島県	鳴門市	市内小・中学校・他		鳴門LC	
37	336-A	2024年8月23日		高知県	土佐市	市内小・中学校		土佐LC	土佐市教育委員会
参加者数合計							638		

次期 336 複合地区 YCE 準備委員会 議事録

日 時：2024 年 6 月 10 日（月）15：00～17：00 ※接続開始 14：50～  
 場 所：336 複合地区ガバナー協議会事務局  
 岡山市北区厚生町 3-1-15 岡山商工会議所 6F TEL：086-234-0695  
 形 式：ハイブリッド

出 欠	役職	氏名	※敬称略		
			REAL	WEB	懇親会
	B 地区ガバナー 次期議長	藤井 信英	○		○
	A 地区ガバナーエレクト	石井 淑雄		欠	
	B 地区ガバナーエレクト	上原 正樹	○		欠
	C 地区ガバナーエレクト	鳴戸 大二		○	
	D 地区ガバナーエレクト	神田 義満		○	
	MD 世話人 次期 MD 世話人	三島 英揮		欠	
	B 地区委員長 次期 MD 委員長	小銭 和明	○		○
	次期 MD 副委員長	斎藤 明子	○		○
	次期 A 地区委員長	泉川 道広	○		○
	次期 B 地区委員長	小川 太郎	○		
	次期 C 地区委員長	松坂 伊佐夫		○	欠
	次期 D 地区委員長	津森 一正		欠	
	(株)近畿日本ツーリスト中国四国 岡山支店次長	小野 征祥様	○		

司会進行：次期 336 複合地区 YCE 委員会委員長 小銭 和明

1 開会挨拶：B 地区ガバナー（次期協議会議長）藤井 信英

2 議事録作成人の指名：斎藤 明子

3 議 題：次期 YCE 事業の運営について

質疑、その他

4 閉会挨拶：次期 336 複合地区 YCE 委員会委員長 小銭 和明

議事録

次期 MD 336 - YCE 活動について  
 小銭和明次期 MD336 Y C E 国際関係レオ委員長より次年度の活動について 4 項目に分けて提案され提案事項に沿って話し合いがされた。

- 1.これ以上 YCE 事業の遅延を許すわけにはいかないの強い気持ちで前向きに事業に臨んでいただきたい。
- 2.各準地区での各リジョン・各ゾーンでの会長幹事会やキャビネット会議などの席において再開に向けての議論を積極的に進めていただきたい。→YCE 再開の議案と議論、検討を願う。
3. YCE 事業の開催に関してライオンズクラブだけではむつかしいので実務レベルでレオクラブや国際交流センターなど海外留学取り扱い機関との協議を進めていきたい
4. YCE 事業は派遣と受け入れがほぼ同時期に進行するため各準地区の YCE 委員長の負担が大変大きくなるのでできる限り副委員長を選任し役割分担をするシステムを構築してほしい。

C 地区鳴戸ガバナーエレクト

コロナ以前は熱心に行われており再開したいという意欲はあったのだが複合レベルで計画が整っておらず実現に至らなかった。

地区での予算的な対応はできているので複合で準備を整えてほしい。また、流れを構築し説明会などを開催してほしい。

複合の動きがないと準地区は動きにくい。まず派遣から始めるのもいいのではないだろうか。

D 地区神田ガバナーエレクト

来年の夏より開始できるよう勉強会を開き各地区の委員に学び準備をする。YCE 活動は青少年育成において重要であり必要な活動である。

次期 A 地区泉川委員長

A 地区ではぜひ前向きに開催する方向で進めるようにとガバナーエレクトより YCE の予算をとってもらえるようになった。地区委員長スクールでも復活の旨を伝えた。

藤井次期議長

できることから進めてほしい

B 地区上原ガバナーエレクト

派遣だけにするか受け入れもするのかを具体的に決めていく必要がある

YCE 活動再開に向けて具体案

日本ライオンズの動きが鈍いので複合独自で進めていってもいいのではないだろうかとの意見もあったが、ライオンズとしての責任の所在がはっきりとしないのはいかがなものかなど話し合いがなされ、まず来期の冬季より受け入れだけを試みることとなり台湾に打診をすることとなった（台湾は今まで夏の受け入れしかしていないので冬季は初めての試みである）返答を待って再開に向けて具体的に動き予算などの計上をする。

各委員には夏季の受け入れは冬に冬季の受け入れは夏に準備をしなくてはいけないことを周知することが大事である。

議事録署名人：336 複合地区 2024-2025 年度 YCE 委員会

委員長 小銭 和明

承認年月日：2024 年 6 月 21 日

(2023-2024)一般社団法人日本ライオンズ

## 第7回 YCE 委員会 議事録

◎日時：2024年6月12日（水）10：30-12：00

◎開催方法：Web（Zoom）

### 一般社団法人日本ライオンズ

理事長	田名部 智之	(八戸LC)
専務理事	増澤 義治	(諏訪湖LC)

### YCE委員会

委員長	吉村 弘吉	(和歌山LC)
副委員長	田中 雄一	(狭山LC)

### 各複合地区YCE委員

MD330委員長	ベイリー 久美子	(加須LC)
MD331委員長	鈴木 善一	(千歳LC)
MD332委員長	菊池 徳男	(北上国見LC)
MD333委員長	藤川 清幸	(前橋中央LC)
MD334委員長	石本 雅之	(鯖江LC)
MD335委員長	正岡 章	(吹田江坂LC)
MD336委員長	蔵本 守雄	(高松源平LC)
MD337委員長	岡 秀昭	(大川LC)

### オブザーバー

現・次期MD336YCE委員会世話人	三島 英揮	(福山東LC)
次期 MD336YCE 委員長	小銭 和明	(倉敷東 LC)

1.開会宣言 招集権者 一般社団法人日本ライオンズ YCE 委員長 吉村弘吉

2.出席者の確認

次第による出席者確認と進行を一般社団法人日本ライオンズ YCE 吉村委員長が行った。

3.議事録作成人の指名

MD337 委員長の岡秀昭を指名した。

4.前回議事録の確認と訂正

- ・ P2.の 4 行目

正しくは、「…**MD330** で受入れることで解決したと MD334 石本委員長より報告。」

- ・ P.5 の下から 5 行目

正しくは、「…MD332 では**ノルウェー**…」。

5.議題 確認事項および協議事項

①第 6 回 YCE にて協議された担当窓口制度の件 各 MD からの意見の報告

- ・ MD330 ※確認中
- ・ MD331 ※窓口国はそのままお願いします→  
フィンランド、スペイン、スイス
- ・ MD332 コロラド、テキサス、ノルウェー
- ・ MD333 メキシコ、ブラジル、ポーランド、ハンガリー
- ・ MD334 ベルギー、エストニア、ドイツ、イタリア
- ・ MD335 ニューージーランド、マレーシア（東マレーシア）
- ・ MD336 窓口国はそのままお願いします→  
台湾、マサチューセッツ、イスラエル、モルドバ、セルビア
- ・ MD337 窓口国はそのままお願いします→  
ミネソタ、ウエストバージニア、ウィスコンシン、シンガポール、カンザス、  
オーストリア、クロアチア、トルコ

※現窓口国には積極的に、フリーになった国にも声掛けし再構築していくよう

申し送りする予定

➤吉村 YCE 委員長より：

各複合の窓口国は希望通りに、それ以外の国は共通国（オープン）とし、問合せがあった場合には受けた複合が対応する。結果は日本ライオンズ YCE 委員会に報告し情報共有する。またこの窓口体制は進めながら都度検討、見直しすることを前提とする。

※課題・提案：

複合単位で進めることは、各諸問題が生じると予想されるため、最終的にはオールジャパンで一つにまとめることを希望する

## ②夏期交換の最終情報共有

### ●最新派遣人数について

- ・ MD330 フランス\_3名→「1名」に訂正報告、MD4\_4名
- ・ MD332 ※一覧表のとおり→  
テキサス\_1名、コロラド\_2名、MD4\_1名
- ・ MD333 ※一覧表のとおり→  
スロベニア\_1名、ポーランド\_1名、リトアニア\_1名、チェコスロバキア\_1名
- ・ MD334 ※一覧表のとおり→  
エストニア\_1名、ベルギー\_3名、イタリア\_5名、ドイツ\_5名、マレーシア\_9名
- ・ MD335 ※一覧表のとおり→  
リトアニア\_1名、ルーマニア\_2名、アルバータ(カナダ)\_2名、ミシガン\_2名、  
オーストラリア\_2名、ニュージーランド\_3名、マレーシア\_11名
- ・ MD336 なし
- ・ MD337 カンザス 5名→「4名」に変更、  
マレーシア\_3名、シンガポール\_12名

### ●最新来日人数について

- ・ MD330 ※一覧表のとおり→

ベルギー\_4名、オランダ\_1名、フランス\_3名、サウスカロライナ\_1名、  
MD4\_1名、メキシコ\_1名

- ・ MD332 ※MD330の1名を急遽受け入れることになったため、  
ノルウェー\_3名→「4名」に変更、MD4\_1名

- ・ MD333 ※一覧表のとおり→  
スロベニア\_1名、ポーランド\_1名、リトアニア\_1名、チェコスロバキア\_2名、  
ハンガリー\_2名、メキシコ\_2名

- ・ MD334 ※一覧表のとおり→  
スイス\_1名、フィンランド\_2名、イタリア\_7名、ドイツ\_4名、フランス\_1名、  
メキシコ\_1名

- ・ MD335 ※一覧表のとおり→  
スイス\_1名、スペイン\_2名、フィンランド\_1名、スロベニア\_1名、  
リトアニア\_1名、チェコスロバキア\_2名、ルーマニア\_2名、オランダ\_1名、  
フランス\_1名、ハンガリー\_1名、イギリス\_1名、アルバータ（カナダ）\_1名、  
メキシコ\_1名、インドネシア\_1名マレーシア\_7名、インド\_1名

- ・ MD336 なし

- ・ MD337 なし

➤吉村 YCE 委員長よりまとめ：

以上、その後、訂正が入った場合には日本ライオンズまでご連絡をお願いします。

●「旅程の報告・派遣方面別リーダー・サブリーダーの報告等」について：

➤吉村 YCE 委員長よりお願い；

「MD334」から提出されたフォーマットは分かりやすく、この資料を参考に各複合地区でも報告書を作成していただき、日本レベルの全体的な情報把握のために日本ライオンズに提出いただけるとありがたいです。

※リーダー・サブリーダーについての進捗共有：

MD332：人数が1名、2名なので特に選任していない

MD335：マレーシア（および東マレーシア）は7月出発（先発）、8月出発（後発）とそれ

ぞれ各1名ずつ合計6名を選任し、研修会は遠方参加者もいるため出発チームのグループ Line を作成し対応している

MD337：あと2回ある研修会でリーダー・サブリーダーに手引き書を渡し説明予定

### ③その他

#### ●MD330 から懸案事項

MD4への派遣にあたりホストファミリーが決まらない、向こう側の都合（アレルギー有はNG）で断られかけた。結果的には交渉を重ねて派遣できたが、今までに無い経験。

他MDではどうか？

⇒MD333：同様のことはある。先方の委員長責任（メールのやり取り先）を基本に、受けってもらうしかない。双方間の事業となれば日本側でも同様の事情が起こる場合が考えられるため。それも各MD委員会が責任をもって対応する。

⇒MD335：委員長責任でやってもらうしかない。また事前に受入人数をしっかりと確認しておくことも大事になってくる。

⇒MD337；文化の違いも念頭に、事前に要望ははっきりと伝える必要がある。

#### ●マニュアル変更について

- ・改定案を示した今回の資料を確認し了承した。

### ④その他申し送り事項

- ・元YCE派遣生（MD336）からの連絡について：

YCE-OB 生の方が活躍されている事を情報として共有し、各複合地区でも広く紹介してほしい。

→「くらもとさちこ」氏

（コペンハーゲン在住、広島県出身。暮らしと食の専門家、デンマークの豊かな文化を紹介する企画や執筆を中心に活動）

- ・MD337 より、「スペシャル・リクエスト」での派遣の取り扱いについて（主に出発地による派遣生の旅費軽減を考慮）検討事案としていただきたい

- ・次回委員会開催について

次期委員長予定者、田中副委員長より、夏のキャンプが終わる頃の日程で、次期各複合委

員長をメインに、23-24 各複合委員長も参加していただき、進捗状況は 23-24 委員に報告していただこうと検討している。(正式な開催日は田中次期委員長予定者に調整いただくよう、吉村委員長から依頼)

6.閉会の挨拶 (所用で遅れての参加となり、会議の最後にご挨拶を頂戴した)

田名部理事長：

社団の総会、最終理事会が終了し、残すところ国際大会だけとなった。YCE 事業では、マニュアル・ユニフォーム変更と具体的な対応をありがとうございました。最終的な形にはオールジャパンの窓口対応だと思うが、現段階では社団での対応は予算的に厳しく、各複合地区に負担をかけている。今期、社団の健全化を図り、新たに内規の整備も進み、事務局員を募集できるようになった。YCE の受け皿としての部分も可能性が見えてくるかもしれない。来年度以降は田中次期委員長を中心にいよいよ改革に着手し、子どもたちの活躍のきっかけとなる事業とし、私も社団の理事長の任期は終わるが理事としては残るので、今後も YCE 事業の発展に寄与していければと考えている。

増澤専務理事：

任期がまたがる事業でもあり、いろんな問題が出てくることも有るのかと思う。また各複合地区での委員会でもあるので、力を合わせながら少しずつ目標に向かって進んでいければと思う。まだ事業は残っているのでよろしくお願いします。皆さん、一年間ご苦労様でした。

2024 年 6 月 17 日

議事録作成人

MD337YCE 委員長 岡 秀昭

# 2023-24年度ライオン誌日本語版委員会 第11回会議 報告書

日 時：2024年6月13日（木）14:00～16:00

場 所：一般社団法人日本ライオンズ 事務局・Zoom併用

出席者：国際理事	城 阪 勝 喜（大阪港ライオンズクラブ） *Zoom
委員長	藤 谷 文 雄（332複合地区／秋田県・大曲ライオンズクラブ）
編集長	団 英 男（335複合地区／兵庫県・神戸みなとライオンズクラブ）
委員	田 中 明（330複合地区／埼玉県・和光ライオンズクラブ） *Zoom
委員	馬 場 哲 也（331複合地区／北海道・函館東ライオンズクラブ） *Zoom
委員	瀧 野 二 三 世（337複合地区／大分ライオンズクラブ） *Zoom
一般社団法人理事長	田 名 部 智 之（青森県・八戸ライオンズクラブ） *Zoom
一般社団法人常務理事 PRマーケティング副委員長	星 野 勝 美（群馬県・太田ライオンズクラブ）

欠席者：国際理事	鶴 嶋 浩 二（北海道・札幌中島ライオンズクラブ）
国際理事	濱 野 雅 司（埼玉県・岩槻ライオンズクラブ）
委員 一般社団法人専務理事／PRマーケティング委員長／事務長	増 澤 義 治（334複合地区／長野県・諏訪湖ライオンズクラブ）
委員	三 枝 久 夫（333複合地区／栃木県・佐野西ライオンズクラブ）
委員	上 田 隆 政（336複合地区／広島県・三原ライオンズクラブ）
ITアドバイザー	荘 英 隆（東京恵比寿ライオンズクラブ）



藤谷委員長から開会あいさつがあり、5月17日に開催された第3回ライオン誌検討委員会において、国際会則及び付則、理事会方針書第16条 ライオン誌、複合地区会則にのっとり問題を解決し、社団の田名部理事長と共に確認書に署名したことが報告された。続いて城阪国際理事からあいさつがあり、「ライオン誌の問題が皆が納得した上で解決を見た。これを機にこれまで以上に良い記事を作っていってほしい」との発言があった。田名部理事長のあいさつでは「時代の変わり目に当たり、検討委員会において問題解決に向かったのと並行して、どのようにより良いライオン誌を編集していくかを皆さんと共に考えてこられたことをうれしく思う」との発言があった。その後、出席者を確認し、藤谷委員長と団編集長の進行で議事に入った。

## 【議事】

### 1. ライオン誌日本語版の運営

#### ●2023年7月～24年4月ライオン誌関係会計報告

社団の2023-24年度正味財産増減計算書を資料とし、ライオン誌関連科目を確認した。4月には印刷版春号が発行され、今年度全4回の発行が完了し、直接出版費は32,138,588円で、予算執行率101.1%となった。印刷版は36ページ3回、44ページ1回の予算としていたが、国際協会の指定記事掲載のために44ページが2回になったことによる。毎月発行のデジタル版関連費は10回発行した時点で、4,286,046円（同61.6%）。当初予定より取材回数が減った分、支出が抑えられている。予算に沿って運営されていることを確認した。

直接出版費の原稿料・編集費の中には、これまで印刷版レイアウトの外注費が含まれていたが、春号からは社団の増澤事務長が担当して内製化した。これについて田名部理事長から、増澤事務長の本業が印刷業であるために可能なもので、事務長としての本来の職務に追加で行う仕事に対しては、外注よりも安価な金額で支払いをすべきとの見解が示された。本日は増澤事務長が欠席のため、次回委員会で確認する。

#### ●第3回ライオン誌検討委員会（5月17日）報告

第3回ライオン誌検討委員会について、田名部理事長から概要として以下の報告があった。

- 事務所合併当時からの見解の相違や認識のズレなどにより生じていた諸問題について、相互に歩み寄って解決し、再び問題がぶり返すことのないよう、署名入りの確認書を作成した。
- 昨年度、当時の国際理事連名のライオン誌に関する是正要望書が社団に提出されたが、今回の確認書に対して異議がないことを元国際理事2名に確認した。
- ライオン誌は理事会方針書にのっとり運営されることが大前提であるため、国際協会のサンジープ・アブジャ事務総長、ダン・ハービー マーケティング部長、デイビッド・キングスバリー法務部長兼幹事による回答文書に基づいて解決を図った。
- 合併前のライオン誌余剰金は2億2,000万円と確定して社団の積立金としたこと、80円は全て社団の賛助会費であること、ライオン誌発行に必要な経費は社団が負担することなどを確認した。
- 確認書は日本ライオンズ事務所に原本1冊を保管しており、閲覧希望があれば事務所内で閲覧出来る。

報告の後に渕野委員から、ライオン誌委員には報告の内容をまとめた文

書を配布してほしいとの要望が出され、田名部理事長から取りまとめたペーパーを作成し提出するとの回答があった。また団編集長から、積立金2億2,000万円の使途について質問があり、田名部理事長から「ライオン誌発行に不足が生じた場合の費用の他、社団で必要が生じた時には、その時点の理事や地区ガバナーと協議して支出していく性質のものである」と回答があった。

## 2. ウェブマガジン編集関係

- 2024年6月号(6月1日公開)出来

公開済みの6月号出来を確認した。

- 2024年7、8月号更新予定(案)

7、8月号の主要コンテンツの内容と取材経費(概算及び精算額)を確認した。7月号「取材レポート」で取材を予定していた奉仕活動2件のうち1件が延期になり、代替の手配が間に合わないためこの号の取材は1本のみとする。前回委員会で8月号の取材対象候補に挙げた奉仕活動の実施時期が変更になったため、7月中の実施が予定されている別の奉仕活動取材することを決定した。

- 「取材レポート」取材対象候補

7月及び8月中の実施が見込まれる奉仕活動の情報を確認。取材対象候補の選択は団編集長に一任する。

## 3. 印刷版編集関係

- 2024年夏号(7月25日発行)台割(案)

44ページ建ての台割を確認した。「表紙・国際会長ポートレート」「2024-25年度国際会長テーマ」の指定記事の他、「メルボルン国際大会」「2024-25年度地区ガバナー紹介」を掲載する。この号までは今年度委員会編集に当たり、「編集室」は上田委員(336複合)と渕野委員(337複合)が担当する。「地区ガバナー紹介」には、就任予定者が未定の330-A地区は掲載出来ないため、その旨の説明書きを添える。原稿と共に収集した各地区ガバナーのスローガン及びテーマの一覧を確認した。

## 4. 主要記事予定

- 2023-24年度主要記事予定

今年度の印刷版及びウェブマガジンの主要記事予定を確認した。

## 5. その他

- ウェブマガジンの改修

前回委員会後、共同印刷の担当者との打ち合わせでバックナンバーの表示方法について新たな提案があり、それを反映させた見積2点を確認し検討した。より使い勝手が良く、管理がしやすい方法を採用して、改修作業を

進めることとした。

●ServannA（サバンナ）関係

国際協会の新しい会員種別「特典会員」の施行に伴う、サバンナでの特典会員の項目追加は最終チェック段階で、近日公開の予定であるとの報告を受けた

閉会あいさつ 藤谷委員長

**【次回開催予定】**

7月 8日(月) 14:00～16:00 第12回会議 (Zoom)

\*新旧合同とし、次期委員会メンバーにはオブザーバーとして出席を要請する

# 第3回全国特別支援学校フットサル大会

## 中国地区・四国地区大会 開催要項

- 1 目的 本大会は、特別支援学校生徒がフットサルを通して、日々、鍛錬してきた成果を踏まえ、自校生徒間のチームワークを深めるとともに、他校生徒に敬意を持って接し、もつて広く社会性を養い、就労への意欲を高めて、インクルーシブ社会の実現に向けた当事者としての成長に寄与することを目的として開催する。
- 2 主催 公益財団法人日本ライオンズ
- 3 主管 IPU・環太平洋大学サッカー部
- 5 後援 スポーツ庁、全国特別支援学校長会
- 6 協力 IPU・環太平洋大学サッカー部
- 7 日時 令和6年8月25日（日） 10:00 開始
- 8 会場 IPU・環太平洋大学第4体育館  
〒709-0863 岡山県岡山市東区瀬戸町観音寺 721 TEL:086-201-3171(体育会事務局)
- 9 日程 10:00～ 開会式（全チーム参加）  
10:45～ 競技  
16:30～ 閉会式（全チーム参加）  
※参加校数によっては日程が大幅に変更になる可能性があります。
- 10 参加資格 ① 原則として、単一の特別支援学校・養護学校での参加とし、同一校の生徒であるならば、障害種別は問わない。対象は、高等部生徒で、基本的なルールやリスペクトの精神が理解でき、フットサルの試合に耐えうる体力を有する者とする。  
② 1チームは、生徒5～8名、引率1～2名、計6～10名で編成する。
- 11 競技規則 競技規則は、原則、(公財)日本サッカー協会発行「フットサル競技規則2023/2024」による。ただし、本大会独自の規定を定める部分もある（参加チームには後日連絡）。
- 12 表彰 ①各地区優勝、準優勝、3位を表彰する。  
②各地区大会で優勝した学校は、令和6年11月1日(金)～11月2日(土)開催の全国特別支援学校フットサル大会（愛知県名古屋市）への出場資格を得る。なお、都合により出場できない場

合は、準優勝校以下、上位校に参加優先権が与えられる。

- 13 参加申込 ①所定の「参加申込書」および「プライバシーポリシー同意書」を大会事務局に郵送で提出すること。
- ②締切 **2024年6月25日(火) 必着**
- ③大会事務局 〒709-0863 岡山県岡山市東区瀬戸町観音寺721  
TEL : 086-201-3171 (体育会事務局) サッカー部コーチ 坂手 雅斗
- 14 参加料 無料
- 15 その他 ① 大会開催地までの移動に係る合理的な往復交通費は、予算の範囲内で各校に助成する。  
※原則として、チーム構成員分(最大、選手8名分と引率者2名分)の、学校最寄りのJRまたは私鉄の駅からJR東岡山駅または、JR瀬戸駅の往復運賃(障がい者割引適用)を助成する。  
貸し切りバスを使用された場合、上記の往復運賃(障がい者割引適用)分の助成を行う。  
※JRまたは私鉄を手配する際は、事務処理を円滑に行うために大会側の指定した業者を使用させていただきます。
- ② 大会会場から遠隔にある学校は、予算の範囲内で前泊の宿泊費を助成する。
- ③ 参加校責任者は、自校及び他校生徒等への努力・敬意・勝者への称賛等を大事にする心を持つよう、(公財)日本サッカー協会「リスペクト宣言」を事前に指導する。
- ④ 大会参加にあたって、各チームは旅行及びスポーツ傷害保険等の加入手続きを済ませる(日本スポーツ振興センター災害共済給付に加入している場合はこれに代わるものとする)。
- ⑤ 弁当については予約制とし、希望するチームには当日の昼食分を大会運営側で準備する。
- ⑥ 熱中症対策も鑑みて、待機場所は第4体育館横ハーモニー1Fとする。(9:00~18:00で使用)
- ⑦ その他詳細情報は、大会参加申込をした各校に別途案内する。

予算書

請求日 令和6年6月13日

公益財団法人日本ライオンズ  
理事 池原 堅 様

第3回全国特別支援学校フットサル大会 中国地区・四国地区 大会に関わる費用を以下の通り、ご請求申し上げます。

ご請求金額
¥ 2,400,000

開催パートナー組織  
所属 IPU・環太平洋大学サッカー部  
名前 坂手 雅斗  
連絡先 080-1942-8063  
Mail [m.sakate@ipu-japan.ac.jp](mailto:m.sakate@ipu-japan.ac.jp)

振込先	銀行名 中国銀行 支店名 瀬戸支店 (店番 133) 口座番号 2538560 名義 全国特別支援学校フットサル大会中国地区事務局 坂手 雅斗
-----	--

内訳

区分	大会	内容	金額	備考
各学校の移動助成費	中国・四国大会	電車、マイクロバス代	¥1,100,000	
参加者の宿泊費	中国・四国大会	1校(前年度)	¥100,000	
運営役員、審判等の謝金	中国・四国大会	役員・審判・運営	¥150,000	
弁当等の食料費	中国・四国大会	1,000 x 100名分	¥100,000	
優勝カップ等の表彰費	中国・四国大会	1~3位、個人賞	¥50,000	
大会パンフレット等の印刷費	中国・四国大会	200部	¥30,000	
消耗品・雑費	中国・四国大会	ラインテープ等	¥110,000	
事務局費用	中国・四国大会	振込手数料等	¥10,000	
会場借用料	中国・四国大会	環太平洋第4体育館使用料	¥0	
熱中症対策費	中国・四国大会	空調設備及び対策	¥700,000	
予備費	中国・四国大会	予備費	¥50,000	

大会予算 今回請求額 ¥2,400,000

予算残高 ¥0

合計	¥2,400,000
----	------------

# 開会式及び閉会式次第(案)

8月25日(日) 開会式 生徒整列 午前 ○ 時○ 分 開会式 10 時

1 開式宣言

2 主催者としての挨拶 公益財団法人日本ライオンズ理事 池原 堅

336 複合地区ガバナー協議会議長 藤井 信英

3 主管者としての挨拶

4 選手宣誓

5 大会注意 審判委員会

6 閉式宣言 司会者

閉会式 生徒整列 午後 ○ 時 ○ 分 閉会式 午後 ○時○ 分

1 開式宣言 司会者

2 成績発表

3 表彰式 呼名されたチームの選手は、前に進む、前に進んだ選手は

ライオンズクラブ トロフィ授与

4 主催者挨拶 公益財団法人日本ライオンズ理事 池原 堅

5 閉式宣言 司会者

※閉式宣言の後に全体で集合写真を撮影します

公益財団法人 令和6年度役員及びパートナー-法人連絡先一覧及び都道府県の割当等

○担当者連絡一覧

2024.5.10 現在

地区	開催期日	開催会場	主催者役員及び連絡先	開催パートナー組織及び連絡先等
北海道	7月27日(土)	道立野幌総合運動公園 総合体育館	理事 片山雅裕 090-8631-3004 masahiro@katayama-constr.co.jp	公益財団法人明日佳 鈴木重男 090-7519-9503 suzuki@kyoshinomichi.jp
東北	7月6日(土)	聖和短期大学体育館	仮: 理事長 小野寺眞悟 090-3390-1792 singo@asuka-gp.or.jp	一般社団法人東北サッカー協会 天本清隆 090-8259-9223 r-tohoku@jfa.or.jp 東北福祉大学 大西孝志 080-4895-1066 t-onishi@tfu-mail.tfu.ac.jp
東関東 西関東	8月29日(木)	東京都北区滝野川体育館	理事 伊賀保夫 080-1105-5455 safari@capsule.co.jp	関東知的障がい者サッカー連盟 木村純一 080-5064-1648 vamora6@yahoo.co.jp
北信越	9月8日(日)	ジョイアクロス「アクロス館」 (アクロス高松)	理事 大山恭範 090-3308-7888 bu-ton29@pearl.ocn.ne.jp	一般社団法人北信越サッカー協会 谷内浩仁 090-2123-6997 r-hokusinetu@jfa.or.jp
東海	7月30日(火)	アイプラザー宮	理事 大山恭範 090-3308-7888 bu-ton29@pearl.ocn.ne.jp	東海地区大会実行委員会 野村政司 090-3158-8138 n09031588138@gmail.com 高橋敬 takashi@happy-jyusetu.com
東関西 西関西	7月29日(月)	大浜だいしんアリーナ (堺市立大浜体育館)	理事 廣田晃一 090-8754-5865 k-hirota@wakoseisakusyoko.jp	関西知的障がい者サッカー連盟 芥川豊和 090-8532-1088 T-AkutagawaT@medu.pref.osaka.jp
中国 四国	8月25日(日)	IPU・環太平洋大学第4体育館	理事 池原 堅 090-7894-5594 office-ikehara@csk-net.co.jp	環太平洋大学サッカー部 桂 秀樹 080-2418-9071 h.katsura@ipu-japan.ac.jp
北九州 南九州	8月24日(土) 8月25日(日)	速水フットサルコート A/B	理事 池上 信 090-3798-0860 m-ikegami@kidmold.co.jp	一般社団法人沖縄県障がい者サッカー連盟 金城 充 090-8291-0556 mitsurugekidan@yahoo.co.jp 大分県立大分支援学校 清未直樹 090-9496-2667 kiyosue-naoki@oen.ed.jp

※事務局 〒104-0031 東京都中央区京橋 1-2-4 八重洲ノリオビル 5階  
 事務局長 増澤義治 090-1866-0613 masuzawa.jlo@apost.plala.or.jp  
 事務担当 辻本 03-6262-6108 office@lions-zaidan.or.jp

○第3回全国特別支援学校フットサル大会各地区大会開催地と参加の都道府県割当

各地区の大会名(開催地)経費配分	該当都道府県名
北海道大会(江別市) 別法人予算	北海道
東北大会(仙台市) 120万円	青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
東関東大会(東京都) 120万円	茨城県、栃木県、群馬県、千葉県
西関東大会(東京都) 120万円	東京都、神奈川県、埼玉県、山梨県
北信越大会(かほく市) 120万円	新潟県、富山県、石川県、福井県、長野県
東海大会(名古屋市) 120万円	岐阜県、静岡県、愛知県、三重県
東関西大会(堺市) 120万円	滋賀県、京都府、奈良県
西関西大会(堺市) 120万円	大阪府、兵庫県、和歌山県
中国大会(岡山市) 120万円	鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
四国大会(岡山市) 120万円	徳島県、香川県、愛媛県、高知県
北九州大会(別府市) 120万円	福岡県、佐賀県、長崎県
南九州大会(別府市) 120万円	熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

※12地区の大会は、当面の間、東関東及び西関東大会並びに東関西及び西関西大会、中国及び四国大会、北九州及び南九州地区大会は、同一日・同一会場で開催する。

公益財団法人日本ライオンズ主催 令和6年度第1回全国特別支援学校フットサル大会  
理事・評議員・監事及びパートナー法人担当者会議 各地区大会の参加校の報告

- 1 担当地区名 中国 地区 パートナー法人名 学校法人 創志学園 IPU・環太平洋大学  
※1 上記は、〇〇に該当地区名及び□□に貴法人名をご記入ください。  
※2 例えば、関東地区は東関東と西関東を別葉に。関西、中国・四国、九州も別葉にて作成を。

- 2 第3回中国地区大会参加校数(未定の場合は、予定数を( )として)  
参加校数 6 校 予定校数 (    校)

- 3 第3回全国特別支援学校フットサル大会 各地区大会参加校名と参加回数  
※1 2024 第3回地区大会校名とその学校が 2022 第1回大会及び  
2023 第2回大会と 2024 第3回大会に累積した回数を( )内に記載してください。

- |   |  |
|---|--|
| 0 | 書記例 ▼▼県立△△支援学校(3回 ※第1回、第2回、第3回大会に参加した場合) |
| 1 | 松江養護学校 乃木校舎 (3回)                         |
| 2 | 島根県立益田養護学校 (3回)                          |
| 3 | 広島県立黒瀬特別支援学校 (2回)                        |
| 4 | 岡山県立瀬戸高等支援学校(1回)                         |
| 5 | 山口県立宇部総合支援学校 (2回)                        |
| 6 | 岡山県立岡山南支援学校 (2回)                         |

- 1 担当地区名 四国 地区 パートナー法人名 学校法人 創志学園 IPU・環太平洋大学  
※1 上記は、〇〇に該当地区名及び□□に貴法人名をご記入ください。  
※2 例えば、関東地区は東関東と西関東を別葉に。関西、中国・四国、九州も別葉にて作成を。

- 2 第3回四国地区大会参加校数(未定の場合は、予定数を( )として)  
参加校数 2 校 予定校数 (    校)

- 3 第3回全国特別支援学校フットサル大会 各地区大会参加校名と参加回数  
※1 2024 第3回地区大会校名とその学校が 2022 第1回大会及び 2023 第2回  
大会と 2024 第3回大会に累積した回数を( )内に記載してください。

- |    |  |
|----|--|
| 0  | 書記例 ▼▼県立△△支援学校(3回 ※第1回、第2回、第3回大会に参加した場合) |
| 1  | 香川県立香川東部支援学校 (3回)                        |
| 2  | 愛媛県立宇和特別支援学校 (2回)                        |
| 3  |  |
| 4  |  |
| 5  |  |
| 6  |  |
| 7  |  |
| 8  |  |
| 9  |  |
| 10 |  |
| 11 |  |
| 12 |  |
| 13 |  |
| 14 |  |
| 15 |  |